

平成30年度

かほく市教育委員会  
点検及び評価報告書

令和元年8月

かほく市教育委員会

## はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、平成30年度のかほく市教育委員会の活動を振り返るとともに、「かほく市教育振興基本計画」に基づき具体的施策について、自ら事務事業の点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する方々からの意見もいただいて作成したものです。

かほく市教育委員会としては、今の時代を生き抜き、多様化する課題に対し主体的に解決できる力を身につけ、次代のかほく市を担う人材をしっかりと育てていくため、計画期間を令和元(2019)年度から令和5(2023)年度までの5年間とする「第2期かほく市教育振興基本計画」を策定し、引き続き、「自ら考え ともに学び 明日をひらく人づくり」を目指すため、創造力と生きがいを育む教育の推進に努力してまいります。

令和元年8月

かほく市教育委員会

# 目 次

教育委員会の活動状況	1
(1) 総合教育会議の開催・審議状況	1
(2) 教育委員会会議の開催・審議状況	1
(3) 教育委員の主な活動状況	4
点検及び評価	6
(1) 総括	6
(2) 昨年度の学識経験者からの主な意見に対する取組	8
(3) 点検及び評価の方法	9
(4) 学識経験者の主な意見等	10
かほく市教育振興基本計画に基づく具体的な取組内容・成果及び今後の方向性	
基本目標 1 確かな学力をはぐくみ一人一人の個性を大切にします	
<b>基本的方向 1 -①) 確かな学力の育成</b>	11
基礎、基本の定着と活用力の向上	
家庭学習の定着と充実	
学習指導法の工夫改善	
教師の資質の向上と組織的な学校経営	
教育センターの研修事業	
<b>基本的方向 1 -②) 豊かな人間性の育成</b>	15
道徳教育の充実	
特別支援教育の充実	
いじめ、不登校や問題行動の防止	
キャリア教育の推進	
コミュニケーション能力の育成	
幼稚園、保育園と小学校、中学校の連携	
<b>基本的方向 1 -③) 児童生徒の体力増進と運動能力の向上</b>	19
学校における運動機会の充実	
健康づくり、体力向上をめざす教育の充実	
安全でおいしい給食の提供	
基本目標 2 家庭・地域・学校が連携し 教育力の向上に取り組みます	
<b>基本的方向 2 -①) 家庭教育活動の充実</b>	22
子育て支援のためのサポート体制の強化 <教育委員会所管外>	
家庭教育に関する学習機会の拡充	
体験活動によるコミュニケーションの促進	
<b>基本的方向 2 -②) 人材の育成と地域活動の活性化</b>	23
地域づくり人材の育成	
地域活動の支援体制の充実	
情報の共有化とネットワークづくり	
学校支援ボランティア事業の推進	
コミュニティ・スクール等の設置	

<b>基本的方向 2 -③) 学校から家庭、地域への働きかけ</b> .....	2 6
学校の教育活動の発信	
学校開放、学校行事への参加促進	
学校と連携した家庭教育の啓発	
<b>基本的方向 2 -④) 関係機関との連携強化</b> .....	2 8
教育相談体制の充実	
問題を抱える子供等の自立支援	
児童の放課後活動の充実(児童館、学童保育クラブ) <教育委員会所管外>	
高等教育機関との連携	
少年愛護センターとの連携	
基本目標 3 生涯にわたって学ぶ意欲を持ち 豊かな人間性を育成します	
<b>基本的方向 3 -①) とともに学び合う機会の拡充</b> .....	3 0
学習情報の発信	
学習成果を生かした社会参加の促進	
生涯学習フェスティバルの開催	
市民大学講座事業の展開	
<b>基本的方向 3 -②) 地域のコミュニティ活動の推進</b> .....	3 2
地域住民が主体となる学習環境の整備	
地域活動の拠点となる施設の整備	
地域活動団体への支援体制の確立	
町会・区との連絡体制の整備	
<b>基本的方向 3 -③) 読書環境の充実と読書活動の推進</b> .....	3 4
図書館サービスの強化	
子供の読書活動の推進	
市立図書館と学校図書館との連携	
ICT化への取組	
<b>基本的方向 3 -④) 博物館活動の充実と情報発信</b> .....	3 6
石川県西田幾多郎記念哲学館の充実	
うみっこらんど七塚「海と渚の博物館」の充実	
基本目標 4 郷土の自然、歴史、文化を継承し 芸術文化活動の充実を図ります	
<b>基本的方向 4 -①) ふるさと学習の充実</b> .....	3 8
地域に根ざした学習活動の推進	
四季の風土を感じるプログラムの実施	
かほく市ゆかりの人物の紹介と全国への発信	
<b>基本的方向 4 -②) 芸術文化活動の促進と支援</b> .....	4 0
すぐれた芸術に触れる機会の提供	
文化活動団体・個人への支援	
地域や世代を越えての交流の促進	
<b>基本的方向 4 -③) 未来に伝える文化財の保護と活用</b> .....	4 2
歴史学習の充実	
考古、歴史、民俗資料の活用	
国、県、市指定文化財の保護と活用	
地域学習や学校授業への活用	
保管活用施設等の充実	
職員の専門性の強化	

基本目標 5	豊かなスポーツライフの創造をめざします	
	<b>基本的方向 5 - (1) 生涯スポーツの推進</b> .....	4 4
	スポーツ推進委員の役割	
	体を動かす機会の提供と日常化の促進	
	他団体との連携による健康・体力づくりの取組	
	<b>基本的方向 5 - (2) 競技スポーツの拡充・強化、底辺の拡大</b> .....	4 6
	各種スポーツ大会の実施	
	児童、生徒の競技力向上のための大会の開催・支援	
	競技スポーツ指導者の育成と指導体制の強化	
	全国大会等出場者への激励	
	<b>基本的方向 5 - (3) スポーツ団体の育成支援と連携</b> .....	4 8
	スポーツ少年団への支援	
	体育協会との連携	
	総合型地域スポーツクラブへの支援と連携	
	健康クラブへの支援	
	各種団体の相互連携支援	
基本目標 6	時代に応じた魅力ある学習環境を作ります	
	<b>基本的方向 6 - (1) 安心して学べる教育環境の充実</b> .....	5 0
	学校防災マニュアルの策定	
	自分の身を守る教育の充実	
	育英制度、奨学金制度の充実	
	老朽建物の改築・改修	
	非構造部材の耐震化	
	I C T 機器の整備	
	環境に配慮した教育設備の充実	
	<b>基本的方向 6 - (2) 生涯学習の拠点となる施設の適正管理と活用</b> .....	5 3
	生涯学習センターの運営管理	
	地域交流施設の有効活用	
	<b>基本的方向 6 - (3) スポーツ施設整備の推進と活用</b> .....	5 4
	施設の統合計画の推進	
	施設機能の充実・強化	
	効率的な管理・運営	
	学校体育施設の有効活用	
基本目標 7	異なる文化や価値観を尊重し世界に通じる人づくりを進めます	
	<b>基本的方向 7 - (1) 多文化共生社会および国際化に対応した教育の充実</b> .....	5 6
	国際交流事業の推進	
	多様な文化に対する理解の推進	
	実践的な外国語教育の充実	
	<b>基本的方向 7 - (2) 人権教育の推進</b> .....	5 8
	学校における人権教育	
	人権意識の向上に向けた活動の推進	
資料	.....	5 9

## 教育委員会の活動状況

### (1) 総合教育会議の開催・審議状況

平成30年度は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第1項に定める総合教育会議を開催し、3件の議件について協議・調整しました。

平成30年度総合教育会議開催状況

開催日	協議・調整事項
平成31年2月20日	かほく市教育大綱（第2期かほく市教育振興計画）の策定について （仮称）かほく市総合体育館整備基本構想について 教職員の働き方改革について

### (2) 教育委員会会議の開催・審議状況

平成30年度は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に定める職務について、及び「市長の権限に属する事務の一部を教育委員会に委任する規則」の規定に基づき、教育委員会会議を12回開催し、議案16件について審議しました。

また、教育委員会の新制度以降、会議の審議内容について、会議録をホームページに公開し、開かれた教育委員会を目指しました。

平成30年度教育委員会会議開催状況

回（開催日）	審議決定事項
平成30年第4回 （平成30年4月27日）	議案第15号 かほく市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 議案第16号 かほく市特別支援教育推進委員会委員の委嘱について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種組織の委員の確定報告について</li> <li>・ かほく市事務組織図（教育委員会）について</li> <li>・ 平成29年度教育センター事業報告及び平成30年度事業計画について</li> <li>・ かほく市教育委員会学校訪問要項(案)について</li> </ul>
平成30年第5回 （平成30年5月29日）	議案第17号 河北採択地区協議会委員の委嘱について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度第1回社会教育委員会議の結果について</li> </ul>
平成30年第6回 （平成30年6月14日）	議案第18号 平成29年度かほく市教育委員会点検及び評価報告書について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費6月認定結果について</li> <li>・ 平成30年度奨学資金支給に係る奨学生の決定について</li> <li>・ 平成30年度コミュニティ・スクールプランに係る査定結果について</li> <li>・ 第15回かほく市生涯学習フェスティバルについて</li> <li>・ 第70回石川県民体育大会日程及び会場について</li> </ul>

回（開催日）	審議決定事項
平成 30 年第 7 回 (平成30年7月18日)	<p>議案第 18 号 平成 29 年度かほく市教育委員会点検及び評価報告書について（継続審査）</p> <p>議案第 19 号 かほく市文化財保護審議会委員の任命について</p> <hr/> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校敷地内におけるブロック塀の対応について</li> <li>・ 平成 30 年度 6 月補正予算について</li> <li>・ 平成 30 年度加賀地区中学校体育大会等の結果報告について</li> <li>・ 平成 30 年度石川県中学校体育大会等の結果報告について</li> <li>・ 第 8 回かほく市子ども議会について</li> <li>・ 平成 30 年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費 7 月認定結果について</li> <li>・ 平成 30 年度特別支援教育奨励費支給決定結果について</li> <li>・ 平成 30 年度小中学校 研究発表会・研修会一覧について</li> <li>・ 平成 30 年度外国語指導助手（新規）について</li> <li>・ 平成 30 年度第 2 回社会教育委員会議の結果報告について</li> <li>・ 平成 30 年度姉妹都市青少年交流メスキルヒ市訪問団の派遣について</li> <li>・ 第 31 回 JAPAN TENT（かほく市プログラム）について</li> </ul>
平成 30 年第 8 回 (平成30年8月24日)	<p>議案第 18 号 平成 29 年度かほく市教育委員会点検及び評価報告書について（継続審査）</p> <p>議案第 20 号 平成 31 年度使用小学校用教科用図書（特別の教科道徳を除く）の採択について</p> <p>議案第 21 号 平成 31 年度使用中学校用教科用図書（特別の教科道徳）の採択について</p> <hr/> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 30 年第 3 回議会定例会提出予定議案について</li> <li>・ 平成 30 年度北信越中学校総合競技大会及び全国中学校体育大会等の成績について</li> <li>・ 第 70 回石川県民体育大会の成績について</li> <li>・ 第 2 期かほく市教育振興基本計画の素案及び今後のスケジュールについて</li> <li>・ 全国学力調査等の結果について</li> </ul>
平成 30 年第 9 回 (平成30年9月25日)	<p>議案第 22 号 平成 30 年度かほく市教育委員会表彰被表彰者の決定について</p> <hr/> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 30 年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費 7・8 月認定結果について</li> <li>・ 平成 30 年度教育委員県外視察研修（案）について</li> </ul>
平成 30 年第 10 回 (平成30年10月30日)	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 30 年度河北郡市中学校新人体育大会等の結果について</li> <li>・ 第 15 回かほく市成人式について</li> <li>・ 第 15 回かほく市立志式について</li> <li>・ 平成 30 年度第 2 回・第 3 回社会教育委員会議の結果について</li> <li>・ 平成 30 年度第 2 回・第 3 回スポーツ推進審議会の結果について</li> </ul>

回（開催日）	審議決定事項
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (仮称)かほく市総合体育館整備基本構想の進捗状況について</li> </ul>
平成 30 年第 11 回 (平成 30 年 11 月 30 日)	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 30 年度加賀地区中学校新人体育大会の結果について</li> <li>・ 平成 30 年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費 10 月認定結果について</li> <li>・ 第 15 回かほく市制施行記念継走大会について</li> <li>・ 平成 30 年度各コミュニティ・スクールの取組状況について</li> <li>・ 平成 30 年第 4 回議会定例会提出議案について</li> <li>・ 第 2 期かほく市教育振興基本計画について</li> <li>・ 総合教育会議における協議調整事項について</li> </ul>
平成 30 年第 12 回 (平成 30 年 12 月 18 日)	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 期かほく市教育振興基本計画について</li> <li>・ 平成 30 年度かほく市特別支援教育推進委員会の結果について</li> </ul>
平成 31 年第 1 回 (平成 31 年 1 月 24 日)	<p>議案第 1 号 (仮称)かほく市総合体育館整備基本構想について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 15 回かほく市成人式参加状況について</li> <li>・ 第 15 回かほく市制施行記念継走大会の参加申込状況について</li> <li>・ 平成 31 年度当初予算要求の概要について</li> <li>・ 学校訪問のまとめについて</li> </ul>
平成 31 年第 2 回 (平成 31 年 2 月 20 日)	<p>議案第 2 号 かほく市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第 3 号 平成 31 (2019) 年度かほく市教育目標について</p> <p>議案第 4 号 かほく市立中学校運動部活動の在り方に関する方針について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 31 年第 1 回議会定例会提出議案について</li> <li>・ 平成 30 年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費 1・2 月認定結果(入学準備費 3 月支給分含む)について</li> </ul>
平成 31 年第 3 回 (平成 31 年 3 月 22 日)	<p>議案第 3 号 平成 31 (2019) 年度かほく市教育目標について (継続審査)</p> <p>議案第 5 号 かほく市立学校の学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について</p> <p>議案第 6 号 かほく市学校運営協議会委員の任命について</p> <p>議案第 7 号 かほく市スポーツ推進委員の委嘱について</p> <p>議案第 8 号 かほく市立学校管理規則の一部を改正する規則について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 15 回かほく市制施行記念継走大会の結果について</li> <li>・ 平成 31 年 4 月 1 日付かほく市教育委員会職員人事異動について</li> </ul>

### (3) 教育委員の主な活動状況

#### 教育委員が出席した主な活動等

年 月 日	活 動 内 容
平成30年 4月 3日	平成30年度初任・新任教職員辞令交付式
平成30年 4月 5日	平成30年度かほく市立小中学校入学式
平成30年 5月15日	平成30年度河北郡市教育委員会連合会定期総会
平成30年 5月15日	石川県教育委員会連合会第1回教育委員代表者会
平成30年 5月15日	平成29年度石川県教育委員会連合会定期総会
平成30年 5月23日	かほく市立小中学校学校経営説明会
平成30年 5月28日	平成30年度かほく市奨学生選考委員会
平成30年 5月30日	指導主事訪問（外日角小学校）
平成30年 6月 3日	第15回かほく市総合体育大会開会式
平成30年 6月 4日	指導主事訪問（高松中学校）
平成30年 6月 7日	第74回寸心忌・献花式・第65回石川県学童話し方大会
平成30年 6月 7日	第1回河北採択地区協議会
平成30年 6月 8日	指導主事訪問（大海小学校）
平成30年 6月16日	平成30年度加賀地区中学校体育大会（～18日）
平成30年 7月 6日	第70回石川県民体育大会出場選手壮行会
平成30年 7月14日	平成30年度石川県中学校総合体育大会（～16日）
平成30年 8月 1日	北信越中学校総合競技大会・全国中学校体育大会出場選手激励会
平成30年 8月 3日	石川県市町教育委員会セミナー
平成30年 8月 6日	かほく市教育講演会
平成30年 8月 8日	第8回かほく市子ども議会
平成30年 8月 8日	第2回河北採択地区協議会
平成30年 8月11日	第70回石川県民体育大会（～12日）
平成30年 8月22日	駒ヶ根市教育委員との意見交換会
平成30年 8月29日	石川県教育委員会連合会第2回教育委員代表者会
平成30年 9月10日	中学校運動会（河北台中学校）雨天：河北台健民体育館
平成30年 9月12日	中学校運動会（高松中学校）
平成30年 9月13日	中学校運動会（宇ノ気中学校）
平成30年 9月15日	小学校運動会（高松小学校、七塚小学校、宇ノ気小学校）
平成30年 9月18日	指導主事訪問（河北台中学校）
平成30年 9月22日	小学校運動会（大海小学校、金津小学校）
平成30年 9月26日	指導主事訪問（高松小学校）
平成30年 9月28日	小学校運動会（外日角小学校）

年 月 日	活 動 内 容
平成30年10月 3日	第5回かほく市小学生体育大会
平成30年10月11日	指導主事訪問（七塚小学校）
平成30年10月17日	平成30年度石川縣市町教育委員会連合会研究大会（穴水町）
平成30年10月19日	県指定「いしかわ道德教育推進事業」研究発表（大海小学校）
平成30年10月23日	指導主事訪問（宇ノ気小学校）
平成30年10月24日	市教育委員会県外（群馬県）研修（～25日）
平成30年10月27日	平成30年度かほく市教育委員会表彰式
平成30年10月31日	市指定公開研究発表会（金津小学校）
平成30年11月 6日	河北郡市教育委員会連合会研修会（加賀市）
平成30年11月10日	平成30年度かほく市PTA大会・石川県PTA地区別研究発表大会
平成30年11月17日	外日角小学校長寿命化改修工事 安全祈願祭・起工式
平成30年11月19日	指導主事訪問（金津小学校）
平成30年11月20日	県指定「いしかわ道德教育推進事業」研究発表（高松中学校）
平成30年11月28日	指導主事訪問（宇ノ気中学校）
平成31年 1月13日	第15回かほく市成人式
平成31年 2月 1日	第15回かほく市立志式
平成31年 2月 4日	市教委学校訪問（宇ノ気小学校・金津小学校・宇ノ気中学校）
平成31年 2月 6日	市教委学校訪問（高松中学校・大海小学校・高松小学校）
平成31年 2月13日	市教委学校訪問（七塚小学校・河北台中学校・外日角小学校）
平成31年 3月 3日	第15回かほく市制施行記念継走大会
平成31年 3月 9日	平成30年度かほく市立中学校卒業式
平成31年 3月15日	平成30年度かほく市立小学校卒業式
平成31年 3月27日	平成30年度かほく市立小中学校教職員離任式

## 点検及び評価

### (1) 総括

平成30年度に実施した具体的施策について、かほく市教育振興基本計画（計画期間：平成26年度～平成35年度）に基づく「基本的方向」に示した「具体的な取組」のうち、教育委員会が所管する84項目の達成状況を、次のとおり4段階に区分し評価する。

- A：計画（最終）目標を達成している
- B：計画どおり進んでいる
- C：計画より遅れている
- D：具体的な取組がなされていない

「基本的方向」に示した「具体的な取組」のうち、教育委員会が所管する84項目について4段階による達成状況及びその分析

- A：33項目（39%）
- B：51項目（61%）
- C：0項目（0%）
- D：0項目（0%）

かほく市教育振興基本計画の「基本的方向」に示した「具体的な取組」で、達成状況により評価した場合、上記のような結果となり全てにおいて「計画（最終）目標を達成している」又は「計画どおり進んでいる」となっている。全体を通しておおむね順調に事業等を展開できたと考える。

今後は、平成30年度末に策定した「第2期かほく市教育振興基本計画」に基づき、教育環境及び学習環境等社会情勢の動向を的確に捉え、スクラップ・アンド・ビルドを行いながら創意工夫を凝らし、各種の施策を推進し、計画（最終）目標の達成につなげる。

平成30年度新たに取り組んだ施策等の概要

- ・新学習指導要領の外国語（英語）の教科化に向け、全ての小学校で先行実施し、平成29年度に配置した民間ALT（1名）と平成30年度は、新規に日本人英語指導助手（4名）を配置し、小学校3年生以上の英語の授業をTT授業で行った。
- ・教職員のICT機器を活用した指導力の向上、デジタル教材の有効活用による授業づくりを推進するため、小中学校の全ての教室において、教職員の指導用タブレット端末を3年計画で整備することとし、平成30年度は初年度として、小学校は2学年、中学校は1学年の教室数分の指導用タブレット端末の整備を実施した。  
また、河北台中学校、宇ノ気中学校において大型テレビ（大型提示装置）の整備を実施した。
- ・学校現場における教職員の業務負担の軽減を図るため、高松中学校、宇ノ気中学校に各1名の部活動指導員の配置を行うほか、小中学校全校を対象とした、学校閉庁日・定時退校日の設定、教職員研修や学校訪問の見直しなどの教職員の負担軽減対策を実

施した。

- ・外日角小学校の長寿命化改修について、平成29年度国の補正予算による補助採択を受け、令和元年までの2ヵ年事業として工事を実施した。  
また、七塚小学校の長寿命化改修に向け、実施設計を行い、平成30年度国の補正予算による補助採択を受け工事に着手した。(令和元年度へ繰越)
- ・平成30年6月に発生した大阪北部を震源とする地震を機に、学校施設のブロック塀等の安全点検を実施し、七塚小学校、外日角小学校、宇ノ気小学校、宇ノ気中学校のブロック塀の撤去工事を実施した。  
また、小学校の遊具について、専門業者による点検を実施し、不具合のあった遊具の修繕、撤去、撤去に伴う遊具の新設を行い、安全で安心できる学校施設に努めた。
- ・公民館の修繕項目の見直しを行い、これまで対象外であった空調設備の新設等についても対象とすることで、地域活動(地域のコミュニティ活動)の拠点施設としての公民館機能の拡充を図った。
- ・「かほく市IoT推進ラボ」としての取組を推進するため、「IT-CATSかほく推進協議会」を設立し、民間企業等との連携・協力のもと各種プログラミング教室やLEGOロボット教室の充実を図った。
- ・児童生徒の自己肯定感を高め、希望に満ちた将来を思い描くことができる青少年の育成を図ることを目的として、かほく市子ども夢プラン事業に基づく「はばたけ!世界へ - 海外派遣応援事業 - 」を創設した。
- ・かほく市の概要や歴史・文化に関する情報を市内外からの来訪者に対して広く発信するとともに、かほく市内の児童生徒のふるさと学習の場として活用するため、「(仮称)かほく市ふるさと資料展示室」を整備する方針を固めた。
- ・スポーツを通してかほく市民の地域交流を図る目的で実施していた「かほく市民交流大会」と市民へのスポーツレクリエーション機会の提供を目的とした「スポレクサーキット大会」を統合し、新たに「かほく市民交流スポレクサーキット大会」として開催した。
- ・「スポーツの素晴らしさを実感できる新たなスポーツ文化の拠点」を基本コンセプトとする「(仮称)かほく総合体育館整備基本構想」を策定し、市民のための新たな体育館整備事業を推進することとした。
- ・全国に通用する次世代アスリートの育成を目指し、かほく市子ども夢プラン事業の1つとして、「かほく市明日のアスリート育成事業」による助成を行い、2団体が助成金活用事業を開催した。

(2) 昨年度の学識経験者(東谷正巳氏・能任まち子氏・宮前昭夫氏)からの主な意見に対する取組

昨年度の主な意見	左記に対する取組内容・今後の対策
<p>教育委員会の業務は多種多様で幅広い中で、これまで以上に、市長部局との連携が大変多くなっている。新教育委員会制度となり、これまで以上に市長部局との連携を密にして、各種事業に取り組んでほしい。</p>	<p>新たな教育委員会制度の趣旨にあるとおり、市長部局と連携を図り、総合教育会議等において、様々な案件に対し意見交換を行い、適時適切な対応が取れるように努めている。特に、緊急事案に対し迅速かつ柔軟に対応していく。</p>
<p>新たに取り組んだ事業も多くあり、大切なことだと思うが、これまでの継続事業についても、真に必要な事業かどうかを検証して、スクラップ・アンド・ビルドを行いながら事業展開してほしい。これからの新たな事業は、地域で継続的に活動できる事業が大事であると思う。</p>	<p>この点検評価において、真に必要な事業かどうかを検証し、事業展開を進めることにしている。 今後、平成30年度末に策定した「第2期かほく市教育振興基本計画」に基づき、各種事業に取り組んでいく。</p>
<p>外国語教育について、小学校で教科化されたことを踏まえ、小学校と中学校の連携がより重要になってくる。小学校の教員についても英語が話せるよう学力、技術力の向上が必要になってくる。 また、これからの小学校の外国語教育について、週に1時間、2時間の英語の授業時数だけではなく、校内放送の活用など、日常的に英語に触れるような取組を進めてほしい。</p>	<p>小学校の外国語教育については、これまでの民間ALT(1名)に加え、新規に日本人英語指導助手(4名)を配置し、小学校3年生以上の英語の授業をTT授業とし拡充を図った。 学校ごとに、校内(廊下・階段等)に英語による掲示や校内放送などを活用し、日常的に英語に触れる取組も始まっている。 今後は、小中学校の連携を意識した英語教育推進校の指定を行うなどの取組も行っていく。</p>
<p>全国的に生徒数が減っていく中、持続可能な中学校部活動の在り方について、学校、PTA、体育協会、スポーツ推進委員会、スポーツ少年団等の各種団体等の意見を聞きながら、真剣に検討してほしい。</p>	<p>生徒数の減少に伴う部活動の在り方については、喫緊の課題であると認識している。 今後も引き続き、各種団体等のご意見・ご提案をお聞きしながら、実効性のある方向性を示しながら、学校とともに連携を図り取り組んでいく。</p>
<p>学校防災について、学校では、親の引き渡し訓練をしているが、あれだけスムーズに引き渡しはできないと思う。実際の災害を想定する必要がある。七塚地区の場合、学童保育は学校施設内に設置されているので、不審者対応、火災、自然災害の場合など、学校と連携した訓練などが必要である。</p>	<p>平成30年6月に発生した大阪北部を震源とする地震を機に、ブロック塀等の安全点検を実施するとともに、児童生徒にも登下校時の指導・訓練を行った。 今後も児童生徒を取り巻く多様な危険を的確にとらえ、児童生徒の発達段階や地域特性に応じた質の高い安全・防災教育の取組を、地域や関係機関とも連携・協働しながら推進する。</p>

<p>教職員の多忙化改善に関連し、教職員の研修は校内OJTが大切であり、これからも重要であると思う。また、各学校に先生をサポート(プリントの印刷など)する人員の配置など検討してほしい。</p>	<p>教職員の業務負担の軽減を図るため、部活動指導員の配置を進めるとともに、現在、コミュニティ・スクールで配置している、学校コーディネーターに学校事務の補助を行えるように業務内容を拡充した。</p> <p>平成30年度末に策定した「第2期かほく市教育振興基本計画」でも、校内OJTを通じて、日常的に学びあう校内研修の充実を図ることとしている。</p> <p>今後は、スクール・サポート・スタッフの配置を進めるとともに、教職員の多忙化改善に取り組んでいく。</p>
<p>いじめについては、早期発見、早期対応など組織的に取り組んでいると思うが、絶対にいじめはあるということを前提にして対応していくことが重要である。</p>	<p>いじめは、どこでも誰にでも起こりうるものであるとの認識に立ち、「いじめは人間として絶対に許されない」という意識を児童生徒に徹底するとともに、各学校におけるいじめの解消に向け、いじめの認知と情報共有の徹底を図る。</p>
<p>社会教育委員の活動が、あまり目に見えてこない。今後の公民館活動や地域活性化に向け、社会教育のあり方について、検討すべきではないか。</p>	<p>平成30年度末に策定した「第2期教育振興基本計画」においても、地区公民館、集会所、その他コミュニティ施設の現行の管理運営体制の差異を整理するため、施設の位置付けとあり方を再検討することとしており、社会教育委員を含め、各種団体等とも協議しながら検討を進める。</p>

### (3) 点検及び評価の方法

点検及び評価は、施策に基づく事業内容と実績を明らかにするとともに、成果と今後の方向性を示している。

また、点検及び評価にあたっては、教育に関し学識経験を有する方として、東谷正巳氏、能任まち子氏、松本吉雄氏から様々な意見や助言を得た。

#### (4) 学識経験者の主な意見等

- ・学校現場でのいじめについての対応は、学校内での報告・連絡・相談をしっかりと行い、学校が一丸となって、取り組むことが大切である。特に保護者への対応は早期に行うべきである。対応が遅れるほど、いじめの対応、解消は難しくなる。
- ・不登校、不登校傾向の児童生徒が増加傾向にある。不登校には、家庭環境や学校での友人関係など、早期に児童生徒の変化を見つけることは、難しい面もあると思う。不登校の未然防止に努め、子どもたちにとって楽しいと思える学校となるよう取り組んでほしい。
- ・中学校で実施している職場体験活動（わくワーク体験）は、生徒にとって将来の夢や自分から進んでやるといった意識の変化が見られ、とても有益な事業である。引き続き、自らが主体的に判断し、粘り強く取り組むことができる児童生徒の育成、キャリア教育の充実を図ってほしい。
- ・教職員の働き方改革が叫ばれている中であって、新学習指導要領による小学校での「外国語（英語）」の教科化やプログラミング教育の必須など、授業時数が増え、大変な面もあるが、児童生徒にとって真に必要な取組かどうかを検証し、スクラップ・アンド・ビルドを行いながら魅力ある学校づくりに努めてほしい。  
今後、教職員を目指す若者が減り、指導力の低下が懸念される。基本的には、国による教職員の定数改善は必須だと考えるが、市としても教職員の負担軽減につながる取組を進めてほしい。
- ・親の働き方の変化や核家族化の進行により、本来は保護者が担っている「しつけ」「言葉づかい」「基本的な生活習慣」などについて、学校に依存している保護者が増加する傾向にある。行政として、子育てに関する学びの環境を整え、家庭教育が子育ての重要な役割を担っていることを改めて認識してもらえよう、保護者の学び・教育力を高めていく必要がある。
- ・地域全体で子供たちを支えるという観点や地域の活性化を考えたときに、地域の公民館活動、コミュニティ活動が重要になってくる。「たかまつ まちかど交流館」では、毎月多くのイベントを開催し、多世代が交流しており、今後の方向性のモデルとなるのではないかと。
- ・地域活動を支える青年団や女性会、壮年団などの社会教育団体が自由に使える活動拠点となる場所が必要ではないか。そういった拠点があることによって、社会教育団体の活性化や多世代の交流を通して、気軽に子育てなどの相談ができるのではないかと。

## 基本的方向 1 - (1) 確かな学力の育成

基礎基本の定着と活用力の向上		達成状況																																																																											
担当課	学校教育課	A																																																																											
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校3年から中学校3年までを対象に、国・県・市事業にて学力調査を下記のとおり実施し、教職員の指導方法の改善に努めるため、自校採点を取り入れ、早期に学力等の現状分析を行い、指導改善につなげている。各学年及び学校間において、基礎学力及び活用力に較差が見られることから、特に、学力が低い学年においては、補充学習を設定するなど底上げとなる指導を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 小学3年生（国語・算数 「市調査」）</li> <li>* 小学4年生（国語・算数 「県調査」）</li> <li>* 小学5年生（国語・算数 「市調査」）</li> <li>* 小学6年生（国語・算数・理科 「国調査」、社会「県調査」）</li> <li>* 中学1年生（国語・数学 「市調査」）</li> <li>* 中学2年生（国語・数学・英語 「市調査」）</li> <li>* 中学3年生（国語・数学・理科 「国調査」、英語・社会「県調査」）</li> </ul> </li> <li>・全国学力調査結果では、小学校6年生は、全教科で全国平均を上回り、算数Aは県平均並み、国語Aは県平均をわずかに下回る結果となった。中学校3年生は、全教科において全国平均を上回り、県平均も上回る結果となった。</li> <li>・石川県基礎学力調査結果（クラス抽出）では、中学校の英語が県平均をやや下回る結果となった。</li> <li>・新学習指導要領による、小学校5年生から外国語（英語）の教科化、小学校3年生から外国語活動の先行実施を行うため、これまでの民間ALT（1名）と新規に日本人英語指導助手（4名）を配置し、小学校3年生以上の英語の授業をTT授業で行った。</li> <li>・国及び県事業によって、小学校1年生から4年生までが35人以下学級であるが、引き続き市独自事業として小学校5年生と6年生において、35人以下学級を実施し、児童の実態に応じたきめ細かな指導を行うことで、児童が落ち着いて学習に取り組むことができた。また、少人数の利点を最大限に生かした指導を行うことができた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 平成25年度 小学校5年生を対象に35人以下学級を導入（講師2人採用）</li> <li>* 平成26年度 小学校6年生までを対象に35人以下学級を導入（講師3人採用）</li> <li>* 平成27・28・29年度 小学校6年生までを対象に35人以下学級を導入（講師2人採用）</li> <li>* 平成30年度 小学校6年生までを対象に35人以下学級を導入（講師1人採用）</li> </ul> </li> </ul> <p>全国学力調査等におけるかほく市の平均点と石川県の平均点の比較</p>																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年・科目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">小学6年生</td> <td>国語A (知識)</td> <td>0.1</td> <td>3.1</td> <td>0.6</td> <td>4.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>国語B (活用)</td> <td>0.4</td> <td>0.9</td> <td>1.3</td> <td>4.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>算数A (知識)</td> <td>1.5</td> <td>2.9</td> <td>1.6</td> <td>1.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>算数B (活用)</td> <td>4.2</td> <td>2.3</td> <td>2.1</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>理科 (国・県)</td> <td>0.3</td> <td>1.6</td> <td>3.5</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table>		学年・科目	H26	H27	H28	H29	H30	小学6年生	国語A (知識)	0.1	3.1	0.6	4.0	1.0	国語B (活用)	0.4	0.9	1.3	4.0	2.0	算数A (知識)	1.5	2.9	1.6	1.0	0.0	算数B (活用)	4.2	2.3	2.1	2.0	1.0	理科 (国・県)	0.3	1.6	3.5	2.0	2.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年・科目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">中学3年生</td> <td>国語A (知識)</td> <td>1.7</td> <td>1.2</td> <td>0.7</td> <td>0.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>国語B (活用)</td> <td>5.5</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>0.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>数学A (知識)</td> <td>3.3</td> <td>1.0</td> <td>2.4</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>数学B (活用)</td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> <td>2.8</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>理科 (国・県)</td> <td>1.2</td> <td>2.2</td> <td>5.0</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table>		学年・科目	H26	H27	H28	H29	H30	中学3年生	国語A (知識)	1.7	1.2	0.7	0.0	2.0	国語B (活用)	5.5	2.0	1.5	0.0	3.0	数学A (知識)	3.3	1.0	2.4	2.0	2.0	数学B (活用)	3.0	1.0	2.8	3.0	3.0	理科 (国・県)	1.2	2.2	5.0	1.0	3.0
学年・科目	H26	H27	H28	H29	H30																																																																								
小学6年生	国語A (知識)	0.1	3.1	0.6	4.0	1.0																																																																							
	国語B (活用)	0.4	0.9	1.3	4.0	2.0																																																																							
	算数A (知識)	1.5	2.9	1.6	1.0	0.0																																																																							
	算数B (活用)	4.2	2.3	2.1	2.0	1.0																																																																							
	理科 (国・県)	0.3	1.6	3.5	2.0	2.0																																																																							
学年・科目	H26	H27	H28	H29	H30																																																																								
中学3年生	国語A (知識)	1.7	1.2	0.7	0.0	2.0																																																																							
	国語B (活用)	5.5	2.0	1.5	0.0	3.0																																																																							
	数学A (知識)	3.3	1.0	2.4	2.0	2.0																																																																							
	数学B (活用)	3.0	1.0	2.8	3.0	3.0																																																																							
	理科 (国・県)	1.2	2.2	5.0	1.0	3.0																																																																							
<p>理科のH27・H30は国調査 H29から県との比較は整数表示（全国学力調査）</p>																																																																													
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒に対して、きめ細かな指導体制実現のために、市独自に講師を採用し、引き続き、小学校全学年で35人以下学級を実現します。また、少人数指導や習熟度別指導、補充的指導など「個に応じた指導」の充実に努めます。</li> <li>・国や県が実施する学力や学習状況に関する調査に加え、引き続き、市独自の学力テストを実施し、調査結果の分析を活用した学力向上PDC Aサイクルを確立するとともに、授業の工夫・改善に取り組みます。</li> <li>・小学校での外国語の教科化をはじめ、中学校でも英語教育の更なる改善・充実に努めるとともに、小学校と中学校の外国語教育の接続を適正に行うため、小学校と中学校との連携強化の推進を図ります。</li> </ul>																																																																													

家庭学習の定着と充実		達成状況					
担当課	学校教育課	B					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習状況調査で「自分で計画を立てて勉強している」と回答した割合が、小中学校とも、県平均を上回り伸びが見られた。</li> <li>例年、市学力向上部会（市学校教育研究会組織）が中心となり、各学校が家庭学習の課題や時間について児童生徒が学校にいる間に見通しを持たせたことや「家庭学習カード」を活用することで、保護者に家庭学習への理解や協力を得ることができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校で、より具体的に児童生徒が計画的に家庭学習に取り組めるよう見通しを持たせます。また保護者に対しても、学習の定着をねらいとする家庭学習の重要性を理解してもらい、協力を得ることに努めます。</li> <li>・スマートフォンやタブレット等の情報機器を家庭で長時間使用している児童生徒は、全国学力・学習状況調査においても正答率が低いという分析がされています。家庭でもインターネット等の利用に関するルールづくりの重要性を周知するとともに、学校でもPTAと連携しながら、児童生徒が規則正しい生活が送れるよう、情報機器の利用に向けた指導を強化していきます。</li> </ul>							
数値目標項目		H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で「自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童生徒の割合	小学校	64.3%	64.2%	69.5%	73.5%	74.1%	75%
	中学校	57.8%	52.3%	54.5%	48.9%	59.4%	75%

学習指導法の工夫改善		達成状況					
担当課	学校教育課	B					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <p>〔いしかわ道徳教育推進事業（県）〕</p> <p>・大海小学校</p> <p>- 研究主題 -</p> <p>「楽しく学ぶ 大海っ子」～地域が育む 豊かな心～</p> <p>*これまでの重点項目「思いやり、親切」に加えて「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」を加え、地域の良さを生かし、道徳教育と地域学習との連携を図りながら「地域の中で豊かに学ぶ大海っ子」を育成することができた。</p> <p>公開研究発表会 期日 平成30年10月19日(金) 講師 金沢工業大学 教授 白木みどり 氏</p> <p>・高松中学校</p> <p>- 研究主題 -</p> <p>「自ら考え 豊かに表現する生徒の育成」～伝え合う力を高めるための授業作りを通して～</p> <p>*昨年度までの「能動的学習推進事業推進校」としての研究実践を活かし、「伝え合う力」を更に高めていくことで、課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶことができる授業を継続して推進することができた。また、「考え、議論する道徳」の授業実践を目指し、生徒一人一人が相手を意識し、わかりやすく表現し、互いに高め合うことを意識した授業づくりを行うことができた。</p> <p>公開研究発表会 期日 平成30年11月20日(火) 講師 愛知教育大学 教授 鈴木健二 氏</p>							

〔学校教育研究事業（市）〕

・金津小学校 2年事業の2年目

- 主 題 -

「学び合う学習をめざして ～主体的にかかわり合って考えを深める授業～」

\* 児童の学力向上を目指し、校内研究を推進することにより、主体的に学び合いを進めることができる児童を育てることができた。

公開研究発表会 期日 平成30年10月31日(水)

講師 大阪体育大学 准教授 上月敏子 氏

平成30年度は、上記の3校が県指定研究・市指定研究を通して、学習指導方法の工夫改善や家庭・地域と連携した道徳教育の推進を図ることができた。

〔外国語教育研究推進事業（市）〕

・宇ノ気小学校

\* 新学習指導要領における小学校外国語教育の教科化に向け、授業方法の改善や学習環境の整備を行うとともに、年間指導計画の作成を行い、研究成果を研修会で公開することにより、市内全小学校に広めることができた。

外国語活動研修会 期日 平成30年8月21日(火)

外国語全体研究授業 期日 平成30年11月14日(水)

【今後の方向性】

・新学習指導要領の着実な実施を視野に、児童生徒の「実践力」や「主体的に学ぶ意欲」など、問題解決学習に必要な資質・能力が求められています。そのため、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進、カリキュラム・マネジメントの確立といった、新しい時代に求められる資質・能力の育成が各学校現場で理解・実現されるよう、学習環境の整備や効果的な指導の実践事例に係る情報提供等を通じ、周知・徹底を図ります。

教師の資質の向上と組織的な学校経営		達成状況
担 当 課	学校教育課	B
<p>&lt; 取組内容・成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校組織の機能化や若手の成長に向けて、積極的に参画・貢献するために必要な資質の向上を図り、組織的な学校運営に必要なリーダー的人材の育成を目的に、校長の推薦する者（中堅教職員）を対象として、市教職員ミドルリーダー研修会を実施した。 * 期 日 平成30年8月9日（木） 内 容 講話 「ミドルリーダーに期待すること」 グループ協議・発表 ・課題 「人材育成に向けた効果的な研修のあり方について」 ・課題 「組織的な学校運営に向けた主任の役割について」 参加人数 各小中学校から10人参加</li><li>・学校現場における教職員の業務負担の軽減を図るため、高松中学校、宇ノ気中学校に各1名の部活動指導員の配置を行うほか、小中学校全校を対象とした学校閉庁日・定時退校日の設定、教職員研修や学校訪問の見直しなどの教職員の負担軽減対策を実施した。</li></ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校内において実施されるOJTを通じて、日常的に学びあう校内研修の充実を図ります。また、学校や教職員の要望に応じて、教育センター職員や指導主事が学校に出向き、校内研修をサポートします。</li><li>・学校が抱える諸課題に対して、専門性を有する地域人材を学校に派遣し、課題解決に向けたサポートを行い、学校における教育力の維持・向上・発展を図ります。</li></ul>		

教育センターの研修事業		達成状況 A
担当課	学校教育課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の資質向上を図るために策定した「かほく市教職員研修基本計画」に従って、計画的に研修会が実施できた。</li> <li>* 基本研修（教職員全体研修会、初任者教職員研修会） 2回 かほく市の教育の現状と課題を理解することを目的とした新任教職員研修会のほか、若手教職員学級経営力、道徳授業力の向上を図る初任者等研修会を開催した。</li> <li>* 指定研修（教務主任研修会ほか8研修会）15回 前期学校訪問を終えての課題に対応するための教務主任研修のほか、研究主任研修、生徒指導主事研修、ICT活用研修、道徳教育推進教師、特別支援教育支援員、心の教室相談員、学校司書、学務員の資質向上を図るために研修会を開催した。それぞれの業務の質を高めることができ、学校教育の向上に寄与することができた。</li> <li>* 重点研修（幼小連携研修会、外国語活動研修ほか6研修会） 12回 こども園と小学校の連携を推進するため幼小連携研修会を実施した。また外国語教育研修について、金沢教育事務所の指導主事を招聘して、きめ細かな指導助言を受けた。</li> <li>* 教育講演会 1回 * 演題「教室の困っている発達障害を持つ子供の理解と認知的アプローチ ～コグトレを使った学校支援～」 講師 立命館大学 産業社会学部 教授 宮口 幸治 氏</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、教職員の多忙化にも配慮し、これまでの研修計画の内容を整理、統合、廃止するなどの見直しを図ります。一方で課題となっている事案について、重点的に研修を行うなど、常に時代の変化に対応した研修を実施します。</li> <li>・不登校児童生徒の未然防止・増加抑制に向けた教職員・特別支援教育支援員等の研修内容の充実に努めます。</li> <li>・教職員が情報通信技術を理解し、コンピュータや視聴覚教材など有効に活用するために、操作の習熟だけでなく、ICTの特性を活かした指導法など、教職員のニーズに応じた研修機会の提供に努めます。</li> </ul>		

## 基本的方向 1 - (2) 豊かな人間性の育成

道徳教育の充実		達成状況 B
担当課	学校教育課・生涯学習課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育推進教師を対象とした研修会を開催し、「タイムリーなことばかり教材にするのではなく、将来を見据えた年間指導計画に基づく取組」や「考える道徳、議論する道徳」の必要性について共通理解を図り、各校での道徳教育を推進した。</li> <li>・共通道徳担当教師を対象とし、小学校では「西田先生の生涯を中心に学び、その人となりから学習する」、中学校では「西田先生の生涯からその哲学までを学び、自己を振り返る学習をする」という共通道徳のねらいについての研修会を開催し、郷土の先人の努力を知り、努力しようとする心構えを育むことができた。また、西田幾多郎記念哲学館と連携した共通道徳の実践に努め、小学館学習まんが「西田幾多郎」や「いしかわ版道徳教材」を効果的に活用することができた。</li> <li>・道徳の授業を保護者や地域の方々に公開するため、「道徳授業年間公開計画」を作成し、計画的な授業公開に努めることができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校では平成 30 年度（中学校は平成 31 年度）から「特別の教科 道徳」が実施されており、これまでの「教材を読む道徳」から問題解決的な学習などを取り入れた「考える道徳」「議論する道徳」に転換を図ります。</li> <li>・学校教育活動全体で、道徳教育を行う要として、西田幾多郎記念哲学館と連携した共通道徳の実践（小学 5 年、中学 2 年）、地域の資源・教材、地域人材を活用した共通道徳に取り組みます。</li> </ul>		

特別支援教育の充実		達成状況 B
担当課	学校教育課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別に配慮の必要な児童生徒にきめ細かく対応するために、学校の必要に応じて特別支援教育支援員を 15 人配置し、学習活動の円滑な運営を支援した。 * 小学校 13 人 * 中学校 2 人</li> <li>・小学校の通常学級に在籍している児童の中で、言語発達遅滞を中心として何らかの個別支援を必要としている児童のために、通級指導教室「ことばの教室」（2 学級）を宇ノ気小学校に設置して専門的な支援をした。</li> <li>・個別支援が適切に行えるように、特別支援教育コーディネーターを中心とし、かほく市共通の個別支援シートの活用を浸透させた。</li> <li>・子ども発達相談支援センター（健康福祉課）の精神保健福祉士と学校教育課職員が、こまめに、保育園や学校を巡回し、情報の共有を図ることができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の必要な児童生徒にきめ細かく対応するために、引き続き、特別支援教育支援員を配置し、一層の資質向上をめざして研修会を開催していきます。</li> <li>・就学前の早期発見や適切な支援が行われるよう、子ども総合センター（子育て支援課）、子ども発達相談支援センター（健康福祉課）、学校教育課の連携を促進し、巡回指導や情報の共有を図ることで、よりきめ細かな対応を行います。</li> <li>・障害のある児童生徒の自立と社会参加に向けた取組を支援する視点に立ち、障害のない子供と共に活動し、学びあう交流及び共同学習の推進を図ります。</li> </ul>		

<b>いじめ、不登校や問題行動の防止</b>		<b>達成状況</b> <b>B</b>
担当課	学校教育課	

< 取組内容・成果 >

- ・不登校及び不登校傾向の児童生徒は4月の30人前後から3月末には50人前後に増加するといった傾向で推移している。特に平成30年度においては、小学校で著しく増加した。
- ・平成27年度から教育委員会として小中学校全児童生徒の心の変化を観察するため、Q U調査を年2回実施し、その結果を活用し、「学力の向上」、「いじめや不登校の改善」、「学校生活の意欲が低下している子供の発見」などに取り組み、問題行動への初期段階での対応に役立っている。
- ・いじめアンケート実施後、各校設置の「いじめ問題対策チーム」が中心となり迅速な対応に努めるとともに、いじめの未然防止についても各校において積極的な取組により、意識が高まってきた。
- ・各校のいじめ防止に対する取組が、保護者に伝わっているかどうかを「かほく市共通アンケート」で調査し、数値の低い学校に対して、引き続き指導を行い改善に努めた。  
【保護者アンケート】  
「学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってきますか。」
- ・数値目標としている「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」について、全国調査(4月)後、7月と12月に追跡調査を行い、各校のいじめ防止に対する指導に効果的に活用することができた。

かほく市における不登校及び不登校傾向の児童生徒の推移

(人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成25年度	31	31	33	33	-	36	35	36	36	35	37	38
平成26年度	28	33	38	40	-	43	46	47	48	48	50	50
平成27年度	25	27	31	32	-	38	43	45	46	47	46	45
平成28年度	25	31	35	37	-	39	42	45	46	46	48	48
平成29年度	30	33	35	36	-	33	34	34	34	35	35	34
平成30年度	24	30	36	32	-	34	38	45	47	48	55	52

【今後の方向性】

- ・不登校の未然防止には、いじめや暴力行為等の問題行動を許さない、魅力ある学校づくりが重要であり、一人一人の学習状況や人間関係を十分に把握し、児童生徒の側に立った指導・配慮が必要である。また、学校と保護者・地域住民等の連携・協働体制の構築を図り、不登校が生じない学校づくりを推進します。
- ・不登校児童生徒に対しては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門スタッフを活用し、校長を中心とした支援体制を整える必要がある。また、学校や保護者を始め、教育センター、福祉機関、医療機関等の情報を共有し、一体となった組織的・計画的な支援を推進します。
- ・いじめは、どこでも誰にでも起こりうるものであるとの認識に立ち、「いじめは人間として絶対に許されない」という意識を児童生徒に徹底するとともに、各学校におけるいじめの解消に向け、いじめの認知と情報共有の徹底を図ります。
- ・各学校において、校長のリーダーシップの下、「いじめ問題対策チーム」を常設し、全教職員の共通理解と連携・協力により、一貫性のある校内指導体制を充実させ、いじめを見逃さない学校づくりを推進します。
- ・学校だよりや生徒指導だより、ホームページ等を通じた「いじめ防止に対する取組」の積極的な啓発活動に努めます。(かほく市共通アンケートで実態調査を継続)

数値目標項目		H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合	小学校	96.6%	97.1%	98.2%	99.4%	99.3%	100%
	中学校	96.4%	97.3%	95.7%	96.0%	97.5%	100%

キャリア教育の推進		達成状況					
担当課	学校教育課	B					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての中学校で、夏季休業中に「職場体験活動」を行い、勤労観、職業観の育成に努めることができた。</li> <li>小学校6年において、学習状況調査の「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた割合が、ほぼ横ばいである。コミュニティ・スクール等で、地域を知る活動や地域の方々からいろいろな話を聞き、今の学びが将来に生きることを深く考える取組、また、家族・身近な人の仕事調べ、社会見学や工場見学を通じて働く人々の姿に触れる体験的活動などの継続的な取組が必要である。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の教育活動全体を通じて、社会における自らの役割や勤労の意味、将来の生き方等について考えさせるために、各学校のキャリア教育の現状と課題の把握に努め、各学校に対して、小中学校それぞれの発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しを促します。</li> <li>他者への思いやり、人間関係を築く力、ものごとを成し遂げる力の育成を図るため、福祉や環境面におけるボランティア活動を推進します。</li> <li>地域の探検や、家族・身近な人の仕事調べ、社会見学や工場の学習等を通じて、ふるさとに根ざして働く人々の姿に触れる体験的活動に積極的に取り組むとともに、様々な職種の方を講師として依頼するなど、働くことの大切さや収穫の喜び、やりとげる達成感の実感などにより、将来の夢や目標を持つ児童生徒の育成を図ります。</li> </ul>							
数値目標項目		H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合	小学校	82.8%	82.0%	80.3%	84.7%	80.5%	95%
	中学校	71.8%	75.2%	74.6%	67.7%	74.1%	80%

コミュニケーション能力の育成		達成状況					
担当課	学校教育課	B					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつを基本としたコミュニケーションの大切さについては、前年度に引き続き、全校において創意工夫を凝らした取組が展開された。</li> <li>コミュニケーション能力の育成については、「学びの12か条+(プラス)」に基づき、実践活動が継続的に行われている。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これからの次代を生きていく子供たちに、本当に必要なコミュニケーション能力は、かつては家庭や地域の中で自然に身に付けられていたが、社会環境の変化などその習得が難しくなっている。各教科等において、互いに意見を聞き合い、言い合い、学び合い、子供たちが自己肯定感を味わうことで、自信をもつような授業手法の展開を進めます。</li> <li>今後も中期的・長期的観点から、子供たちの発達の段階に応じてコミュニケーション能力を高めるための方策について、検討を進めます。</li> </ul>							

幼稚園、保育園と小学校、中学校の連携		達成状況 B
担当課	学校教育課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園と小学校が、「幼小連絡協議会」を開催し、配慮が必要な子供等の情報交換や支援方針などについて理解を深めるとともに、幼児教育と小学校教育の接続について、共通理解・共通行動を図った。        期日 平成30年7月30日(月)        講話 「これからの幼児教育のあり方と小学校との接続」        講師 福井大学教育学部附属幼稚園 副園長 斎藤 弘子 氏</li> <li>・小中学校の連携については、中学校区単位で小中9年間を通した児童生徒の育成に向け、校区における共通課題への取組を推進し、児童生徒の学習習慣を含めた生活指導及び学力向上のための指導法の改善を図った。        (高松中学校校区) 平成30年10月30日(火) 会場 高松中学校        (河北台中学校校区) 平成30年11月21日(水) 会場 外日角小学校        (宇ノ気中学校校区) 平成30年11月14日(水) 会場 宇ノ気小学校</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園での幼児教育と小学校教育の独自性と連続性について、相互理解を深め、円滑な接続を図ります。</li> <li>・幼児と児童の交流の機会を充実するとともに、認定こども園と小学校との意見交換や合同の研究の機会を設けるなど、連携の強化を推進します。</li> <li>・小中学校間の接続をより円滑に行い、小中学校の緊密な連携を推進し、学力向上や生徒指導、特別支援教育などの面において、継続性・連続性のある指導を行います。</li> <li>・小中学校の円滑な接続、連続的な学びの視点が教育活動や指導に活かされるための取組の一つとして、小中一貫教育について、先進事例等の成果を検証し、市内での小中一貫教育の展開について検討します。</li> </ul>		

## 基本的方向 1 - (3) 児童生徒の体力増進と運動能力の向上

学校における運動機会の充実		達成状況
担当課	学校教育課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石川県内の小学校が参加し、インターネットを通じて、自分のクラスの順位を競い合う「スポチャレいしかわ」に全小学校が登録し、積極的な実践を積み重ねて好成績を収めた。</li> </ul>		
<p>【大海小学校】</p> <p>スポチャレ・40m「ベスト部門」 5年の部 6位 5年1組</p>		
<p>【七塚小学校】</p> <p>スポチャレ・40m「チャレンジ部門」</p> <p>2年の部 6位 2年2組 3年の部 3位 3年1組</p> <p>3年の部 6位 3年2組 4年の部 5位 4年1組</p> <p>4年の部 6位 4年2組 5年の部 5位 5年1組</p> <p>5年の部 4位 5年2組</p> <p>スポチャレ・40m「ベスト部門」</p> <p>5年の部 4位 5年1組 5年の部 5位 5年2組</p> <p>スポチャレ・シャトル「チャレンジ部門」</p> <p>2年の部 5位 2年2組 3年の部 5位 3年1組</p> <p>4年の部 3位 4年1組 5年の部 6位 5年2組</p> <p>スポチャレ・シャトル「ベスト部門」</p> <p>4年の部 5位 4年2組</p>		
<p>【外日角小学校】</p> <p>スポチャレ・長なわ「ベスト部門」 3年の部 5位 3年1組</p>		
<p>【宇ノ気小学校】</p> <p>スポチャレ・シャトル「チャレンジ部門」</p> <p>3年の部 3位 3年1組 3年の部 2位 3年2組</p> <p>3年の部 4位 3年3組</p> <p>スポチャレ・8の字「ベスト部門」 5年の部 6位 5年3組</p>		
<p>【金津小学校】</p> <p>スポチャレ・シャトル「ベスト部門」 3年の部 3位 3年1組</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>第13回いしかわっ子駅伝交流大会に全小学校が出場し、県内小学校男子101チーム、女子97チームが出場した中で、男子では高松小学校が第2位、女子では宇ノ気小学校が第8位と入賞を果たした。</li> </ul> <p>駅伝男子の部 *第2位 高松小学校 25分51秒</p> <p>駅伝女子の部 *第8位 宇ノ気小学校 28分20秒</p> <p>*第9位 高松小学校 28分23秒</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度から実施した市内小学校6年生を対象とした小学生体育大会（陸上6種目）を引き続き開催し、学校間の友好や競い合うことの楽しさ、それぞれの学校における団結を体験させることができた。</li> <li>中学校部活動等において、地区予選を勝ち抜き、全国大会で優秀な成績を収めた。（成績：入賞のみ）*第49回全国中学校卓球大会 個人第3位 河北台中学校 三浦裕大（3年）</li> <li>中学校部活動の冬季トレーニングに外部指導者を招き、効果的なトレーニング方法を学ぶことができた。</li> <li>中学校部活動における休養日及び活動時間について、成長期にある生徒が、運動、食事、休養及び睡眠のバランスのとれた生活を送ることができるよう、休養日及び活動時間を定め、統一的に取り組んだ。また、かほく市部活動のあり方検討委員会を開催し、部活動の在り方に関する方針、宇ノ気中学校の部活動の整理・統合について協議した。</li> </ul>		
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「スポチャレいしかわ」に全小学校が登録し、日常的に体力づくりに取り組むとともに、休み時間等においてスポーツ活動を推進します。</li> <li>小学校6年生を対象とした小学生体育大会（陸上6種目）を引き続き開催し、学校間の友好や競いあうことの楽しさが体験できるよう取り組みます。</li> <li>中学校の部活動について、競技力の水準を低下させることなく、休養や活動時間に関する取組を積極的に進めるとともに、社会体育関係団体等とも協議・連携を図りながら、「(仮称)部活動のあり方・整理統合推進計画」を策定します。</li> </ul>		

<b>健康づくり、体力向上をめざす教育の充実</b>		<b>達成状況</b> <b>B</b>
担当課	学校教育課	

<取組内容・成果>

- ・前年度の体力・運動能力調査の結果を基に各校での現状・課題を把握し、「体力アップ1校1プラン」において、項目を絞った取組をしている学校は成果が上がっているが、調査と同時に行われた運動習慣等調査によると、積極的に運動する子とそうでない子の二極化が進んでいる。
- ・市内における児童生徒の全国体力・運動能力調査（小学校5年、中学校2年）結果は、中学2年女子の立ち幅とび以外は、全て県平均を上回り好結果であったが、各校でばらつきがある。

平成30年度全国体力・運動能力調査結果（小学校5年） 県平均を下回っている項目（▲）

小学校	5年男子		5年女子	
	H29	H30	H29	H30
握力				
上体起こし				
長座体前屈				
反復横とび				
シャトルラン				
50m走				
立ち幅とび				
ボール投げ				

	【小学5年男子】			【小学5年女子】		
	市平均	県平均	比較	市平均	県平均	比較
握力(kg)	18.17	17.21	0.96	17.54	16.64	0.90
上体起こし(回)	21.46	20.76	0.70	21.39	19.52	1.87
長座体前屈(cm)	35.80	34.65	1.15	39.64	38.55	1.09
反復横とび(点)	47.44	44.89	2.25	44.09	42.64	1.45
シャトルラン(回)	60.16	57.49	2.67	47.03	46.02	1.01
50m走(秒)	9.15	9.23	0.08	9.40	9.51	0.11
立ち幅とび(cm)	158.10	154.70	3.40	151.01	149.10	1.91
ボール投げ(m)	24.10	23.37	0.37	15.24	14.57	0.67

平成30年度全国体力・運動能力調査結果（中学校2年） 県平均を下回っている項目（▲）

中学校	2年男子		2年女子	
	H29	H30	H29	H30
握力				
上体起こし				
長座体前屈				
反復横とび				
持久走				
シャトルラン				
50m走				
立ち幅とび				
ボール投げ				

	【中学2年男子】			【中学2年女子】		
	市平均	県平均	比較	市平均	県平均	比較
握力(kg)	31.56	29.60	1.96	26.15	24.25	1.90
上体起こし(回)	31.19	27.94	3.25	28.56	24.06	4.50
長座体前屈(cm)	47.26	45.88	1.38	49.55	47.62	1.93
反復横とび(点)	54.51	53.73	0.78	50.32	48.65	1.67
持久走(秒)	365.99	394.79	28.80	272.98	290.48	17.50
シャトルラン(回)	98.03	89.61	8.42	64.23	62.41	1.82
50m走(秒)	7.75	7.92	0.17	8.51	8.75	0.24
立ち幅とび(cm)	203.54	202.52	1.02	175.58	176.21	0.63
ボール投げ(m)	23.65	21.97	1.68	15.23	13.78	1.45

**【今後の方向性】**

- ・全国体力・運動能力調査の結果を分析し、児童生徒の実態や学校の実情に即した「体力アップ1校1プラン」を引き続き推進するとともに、結果を活用した体育の授業や学校独自の取組を展開します。
- ・病気や生活環境に関する正しい知識や個人の健康にあった食生活や運動について学習する機会を充実します。

安全でおいしい給食の提供		達成状況
担当課	学校教育課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・栄養バランスを大切に、季節や旬、イベント等を捉えた興味深い献立を年間通じて企画し提供した。また、旬の地場産物(県内産)を素材にした献立も年間通じて行った。</li><li>・継続した食育の一環として、稲作体験、かぼっくりの定植や収穫、紋平柿の収穫や脱渋などの農業体験を行い、生産者から生育に関する説明を受けるなどの交流会も実施した。また、米飯給食については、差額補填によって瀬戸町及び鉢伏産コシヒカリの一等米を提供した。</li><li>・食物アレルギーを持つ児童生徒は増加傾向にあり、十分な配慮を行うため、第1・第2学校給食センターは、保護者や主治医、学校医とも連携を図り、安全で安心できる学校給食を提供した。</li><li>・昨年に引き続き、学校司書とのコラボレーションで絵本に出てくる料理を学校給食として提供し、学校給食に対する関心を更に高めることができた。また、給食時には読み聞かせも行った。</li></ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、小中学校における学習指導要領に基づき、各教科等を通じた食育を推進します。その際、小中学校においては、「生きた教材」である学校給食を活用した実践的な指導を行うなど、栄養教諭を中核とした学校・家庭・地域の連携による食育の充実を図ります。</li></ul>		

## 基本的方向 2 - (1) 家庭教育活動の充実

家庭教育に関する学習機会の拡充		達成状況
担当課	生涯学習課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かほく市民大学校「家庭教育講座（2回コース）」を開催し、学びの機会を提供した。              家族を撮ろう！・・・・・・5人参加              コミュニケーションの楽しみ方・・・・・・15人参加</li> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」運動を継続し、生活リズムの大切さを啓発した。              *「早寝・早起き・朝ごはん」運動の啓発のぼり旗を夏休み期間中の市内ラジオ体操会場に掲揚した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育の充実については、市教育行政上の重要な課題と位置付け、親子に対する働きかけとしての事業を継続的、長期的に進めます。</li> <li>・学びの機会を効果的に活かし、参加者の増加を図るため、市PTA連合会や各学校PTAと連携した取組を進めます。</li> <li>・親子の絆や家族の大切さなど、家庭教育に関する啓発スローガン（例えば「かほく市家族の愛言葉」）などを使った取組を進め、市PTA連合会や各学校PTAなどを通じて保護者や市民に広く周知します。</li> <li>・3中学校の生徒会が策定した「ネットルール」をPTAや小学校に周知し、家庭でもネットルールについて話し合うためのツールとして活用します。</li> </ul>		

体験活動によるコミュニケーションの促進		達成状況																								
担当課	生涯学習課	A																								
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かほく市民大学校として、小学生とその保護者を対象とした親子体験コースを開催した。親子のコミュニケーションを促し、絆を深めるためのふれあいや対話、子供自身の学びの機会とした。</li> <li>・体験活動の実施に際しては、地元企業の支援や協力を得た。              *市民大学校親子体験コース・親子教室を開催（夏休み期間）              天体望遠鏡作り教室、ロボット教室、コンピュータ製作教室、              ハーブふれあい体験教室、クッキング教室2回</li> <li>*かほく市子ども文化教室（年間活動）を開催              子ども煎茶教室、子どもお箏教室、子どもパステルアート教室</li> <li>*かほく市星の会との連携              七塚生涯学習センター天体観測室にて天体観望会（年間活動）を実施した。</li> </ul> <p>（参考）各教室の開催回数、参加数/定員 など</p> <table border="0"> <tr> <td>天体望遠鏡づくり教室</td> <td>13/20組</td> <td>ハーブふれあい教室</td> <td>悪天候により中止</td> </tr> <tr> <td>コンピュータ製作教室</td> <td>27/30組</td> <td></td> <td>（申込時は10組申込有）</td> </tr> <tr> <td>クッキング教室</td> <td>15/15組</td> <td>クッキング教室</td> <td>15/15組</td> </tr> <tr> <td>ロボット教室</td> <td>6/13組</td> <td>子どもパステルアート教室</td> <td>11回 14人/回</td> </tr> <tr> <td>子どもお箏教室</td> <td>32回 5人/回</td> <td>子ども煎茶教室</td> <td>11回 4人/回</td> </tr> <tr> <td>天体観望会</td> <td>16回 平均28人/回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動の開催については、行政と民間の役割分担により地元企業や各種団体との連携と協力を進め、時代に即した親子体験講座を実施するとともに、親子のふれあいの機会に加えて、他の家族との交流を深めることをねらいとした体験を引き続き実施していきます。</li> </ul>			天体望遠鏡づくり教室	13/20組	ハーブふれあい教室	悪天候により中止	コンピュータ製作教室	27/30組		（申込時は10組申込有）	クッキング教室	15/15組	クッキング教室	15/15組	ロボット教室	6/13組	子どもパステルアート教室	11回 14人/回	子どもお箏教室	32回 5人/回	子ども煎茶教室	11回 4人/回	天体観望会	16回 平均28人/回		
天体望遠鏡づくり教室	13/20組	ハーブふれあい教室	悪天候により中止																							
コンピュータ製作教室	27/30組		（申込時は10組申込有）																							
クッキング教室	15/15組	クッキング教室	15/15組																							
ロボット教室	6/13組	子どもパステルアート教室	11回 14人/回																							
子どもお箏教室	32回 5人/回	子ども煎茶教室	11回 4人/回																							
天体観望会	16回 平均28人/回																									

## 基本的方向 2 - (2) 人材の育成と地域活動の活性化

地域づくり人材の育成		達成状況
担当課	生涯学習課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <p>【IT-CATS かほく推進協議会（かほく市 IoT 推進ラボ）の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報技術の発展により産業・社会構造が大きく変革することを踏まえ、プログラミング教育を通してかほく市の児童・生徒が将来的に役立つ知識・技術・思考を習得し、未来の IT 人材の育成につながるよう、地元企業・高等教育機関・NPO法人・社団法人・プログラミングクラブ・行政からなる組織が活動を展開している。</li> <li>・土日や放課後、長期休業期間中に、小中学生対象のロボット教室やプログラミング教室を行った。プログラミング教室での学習内容を応用した「第2回石川県小学生プログラミングコンテスト」を開催し、かほく市生涯学習フェスティバルの会場で表彰式を行った。</li> <li>・2020年度に始まる小学校でのプログラミング教育に先駆け、4年生～6年生に対して行うプログラミング教育の計画検討に協力した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* IT-CATS スクール（IchigoJam プログラミング教室） 5回×4コース 33人</li> <li>* 親子体験プログラミング教室（PFU モノづくりラボ） 12人</li> <li>* LEGO ロボット教室 12人</li> <li>* WRO（LEGO ロボット）石川県大会 参加者 小学生7人</li> <li>* プログラミングコンテスト 参加者 8人</li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング教室は、初級者対象のものが中心となっているため、より発展的に学びたい児童・生徒のための教室を開催します。また、課題解決型のものづくりや、その楽しさを感じるための場所「K-Labo」の開設について検討します。</li> <li>・若い世代が、ふるさとへの愛着を高め地域の活性化について考える機会を提供し、地域活動に意欲的に取り組む人材の創出を進めます。</li> </ul>		

地域活動の支援体制の充実		達成状況
担当課	生涯学習課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <p>【地域活動補助金の交付】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりに貢献する自主的かつ主体的な事業を実施する市民団体等に対して「かほく市地域活動補助金」を交付した。 実績 1 件 事業名：二ツ屋生涯学習フェスティバル実行委員会「二ツ屋生涯学習フェスティバル」 H25：5件、H26：3件、H27：2件、H28：2件、H29：2件、H30：1件</li> </ul> <p>【公民館長連絡会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高松公民館及び七塚・宇ノ気の地区公民館を中心とする社会教育活動支援のため、年2回の館長連絡会を開催し、市民交流スポレクサーキット大会への参加促進や運営協力、地域づくり補助金の交付などを行った。</li> </ul> <p>【社会教育活動連絡員の選任】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高松公民館（対象区域：高松中学校区全域）と区域内の区町会を結ぶ連携人員として、引き続き「社会教育活動連絡員」を選任した。主に市民交流スポレクサーキット大会への参加協力と審判・係員などの運営協力を求めた。</li> </ul> <p>【石川県公民館大会への参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月4日に輪島市で開催された石川県公民館大会に公民館長・社会教育委員を含む22名が参加し、社会教育活動の実践を学んだ。</li> </ul>		

**【市民交流スポレクサーキット大会への参加・運営協力】**

- ・多世代交流を含むかほく市民の交流と、地区公民館や町会・区としての地域間交流を図るとともに、かほく市民としての連帯感を醸成する大会として実施していた「かほく市民交流大会」を、同様の目的で開催している「かほく市スポレクサーキット大会」と統合した。
- ・昨年度まで年1回1競技での開催だったが、年3回3競技となり地域間交流を図る機会が増えた。

平成30年度	参加チーム	第1戦	フレッシュバドミントン	25チーム
		第2戦	室内ペタンク	69チーム
		第3戦	カローリング	33チーム

**【今後の方向性】**

- ・公民館長や社会教育団体役員などに対して、社会教育活動の重要性などを啓発する講座等を開催し、地域における団体教育活動の振興を図ります。
- ・市民交流スポレクサーキット大会については、より幅広い世代（特に青少年層）より多くの市民が参加していただけるよう取り組みます。
- ・地域の自主性を尊重しつつ、公民館や自治会の活動の差異を整理し、各種団体や行政との協働を奨励して多くの地域住民が参画する社会教育の推進体制を整えます。

情報の共有化とネットワークづくり		達成状況
担当課	生涯学習課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者情報や熊などの危険動物の目撃情報などについては、いち早く「いいメールかほく（学校メール）」で発信し、市民へ情報提供し子供たちの安全を守る体制を維持している。</li> <li>・学校コーディネーターの活動により、学校と地域団体や有志の地域住民との協働を進めることができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育団体や地域活動団体のネットワークづくりを進め、情報の共有、連携を更に進め、地域社会全体としてのつながりを強化していきます。</li> </ul>		

学校支援ボランティア事業の推進		達成状況				
担当課	生涯学習課	B				
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティアの人材登録を進め、学校からの人材要望やコミュニティ・スクールとしての取組人材の活用に応じた。地域の教育力の向上を図るものの一つとなっている。</li> <li>・各校区における登下校時の見守りが充実し、あわせて子供たちのあいさつ運動・交通安全のマナーの指導もされている。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールを推進するため、多くの市民に活動を周知して理解と協力を求め、ボランティア人材の登録増加を進めます。</li> <li>・登下校時の見守り隊ボランティアについては、適宜実態把握を進めるとともに、外部講師や授業補助など学校活動の中で活動する人材の確保を進めます。</li> </ul>						
数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)
学校支援ボランティア登録人数	168	136	126	136	190	300

コミュニティ・スクール等の設置		達成状況 A
担当課	生涯学習課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校コーディネーターの配置により、学校と地域を結ぶ連絡・調整係として活動し、より地域との協働を図ることができた。また業務に必要なスキルが明確になってきたことによって、より具体的な研修を行うことができた。</li> <li>・コミュニティ・スクールの取組を財政的に支援するため補助金を交付した。  交付額（計 4,456 千円）  高松小：549 千円      大海小：420 千円      高松中：440 千円  七塚小：585 千円      外日角小：411 千円      河北台中：455 千円  宇ノ気小：530 千円      金津小：565 千円      宇ノ気中：501 千円</li> <li>・かほく市コミュニティ・スクール推進会議を通して、全小中学校の学校運営協議会の委員、校長、学校コーディネーターが一堂に参集し、これまでの3年間の活動報告と中学校区ごとの情報・意見交換を行い、今後の方向性についても確認・共通認識をすることができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が更に積極的に学校運営に参画する仕組づくりを進め、地域に支えられた学校づくりを推進するための新たな事業展開を検討していきます。</li> <li>・コミュニティ・スクールの小中連携について、学校運営協議会などで検討・協議を進めます。</li> <li>・コミュニティ・スクールとして、新学習指導要領が示す「社会に開かれた教育課程の実現」に向け、学校と地域社会が共有し、学校における教育課程をより確かで深みのある学びとなるよう取り組みます。</li> <li>・コミュニティ・スクールを通じて、地域住民が子供たちの学びに深くかかわることによって、大人自身も学び続けるという生涯学習の推進にもつなげます。</li> </ul>		

## 基本的方向 2 - (3) 学校から家庭、地域への働きかけ

学校の教育活動の発信		達成状況																																																
担当課	学校教育課	B																																																
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いいメールかほく」への登録を各校で呼びかけていることにより登録率の増加傾向は続いている。当初は、災害等危機管理面の情報発信が大半であったが、現在は、学校行事の案内や各種大会の結果等を知らせるなど、各校が工夫して活用している。</li> <li>・県教育センターを拠点として、県内公立学校を結ぶネットワーク（スクールネット）が構築されており、市内9校全てが、県教育センターが提供する統一されたデザインのホームページ作成ソフトを利用しホームページを開設している。そのことにより、誰でも簡単にホームページを更新することができ、見やすいホームページになった。特に河北台中学校は更新回数も多く、新聞にも取り上げられるなど、タイムリーな情報発信が行われている。</li> <li>・かほく市共通アンケート（保護者対象）において、「学校だよりや学年だより等で学校の指導方針や子供たちの様子などがわかりやすく伝わってきますか？」の問いに、「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」の両方を含めた回答は小学校では 95.4%、中学校では 89.5%となっており、おおむね学校からの紙媒体での情報発信は伝わっていると判断できる。</li> </ul> <p>かほく市共通アンケート（保護者対象）上段：H29.12 調査 下段：H30.12 調査</p> <p>「学校だよりや学年だより等で学校の指導方針や子供たちの様子などがわかりやすく伝わってきますか？」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>高松小</th> <th>大海小</th> <th>七塚小</th> <th>外日角小</th> <th>宇ノ気小</th> <th>金津小</th> <th>高松中</th> <th>河北台中</th> <th>宇ノ気中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">「当てはまる」</td> <td>37.0%</td> <td>61.6%</td> <td>49.0%</td> <td>30.0%</td> <td>29.4%</td> <td>30.9%</td> <td>25.6%</td> <td>42.1%</td> <td>31.5%</td> </tr> <tr> <td>30.2%</td> <td>59.6%</td> <td>38.5%</td> <td>29.4%</td> <td>33.9%</td> <td>52.0%</td> <td>19.4%</td> <td>47.1%</td> <td>24.5%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">「どちらかといえば当てはまる」</td> <td>59.5%</td> <td>37.4%</td> <td>47.0%</td> <td>65.0%</td> <td>63.5%</td> <td>48.1%</td> <td>62.6%</td> <td>47.8%</td> <td>61.5%</td> </tr> <tr> <td>64.6%</td> <td>40.4%</td> <td>59.1%</td> <td>65.8%</td> <td>59.7%</td> <td>46.7%</td> <td>68.2%</td> <td>47.1%</td> <td>62.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの更新が遅い学校については、引き続き、こまめな更新・定期的な更新を指導していきます。</li> <li>・紙媒体での情報発信はなされているものの、ホームページを効果的に活用するなど、改善に取り組みます。</li> </ul>				高松小	大海小	七塚小	外日角小	宇ノ気小	金津小	高松中	河北台中	宇ノ気中	「当てはまる」	37.0%	61.6%	49.0%	30.0%	29.4%	30.9%	25.6%	42.1%	31.5%	30.2%	59.6%	38.5%	29.4%	33.9%	52.0%	19.4%	47.1%	24.5%	「どちらかといえば当てはまる」	59.5%	37.4%	47.0%	65.0%	63.5%	48.1%	62.6%	47.8%	61.5%	64.6%	40.4%	59.1%	65.8%	59.7%	46.7%	68.2%	47.1%	62.4%
	高松小	大海小	七塚小	外日角小	宇ノ気小	金津小	高松中	河北台中	宇ノ気中																																									
「当てはまる」	37.0%	61.6%	49.0%	30.0%	29.4%	30.9%	25.6%	42.1%	31.5%																																									
	30.2%	59.6%	38.5%	29.4%	33.9%	52.0%	19.4%	47.1%	24.5%																																									
「どちらかといえば当てはまる」	59.5%	37.4%	47.0%	65.0%	63.5%	48.1%	62.6%	47.8%	61.5%																																									
	64.6%	40.4%	59.1%	65.8%	59.7%	46.7%	68.2%	47.1%	62.4%																																									

学校開放、学校行事への参加促進		達成状況
担当課	学校教育課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いしかわ教育ウィーク（11/1～11/7）の間、各学校で様々な取組を企画し、地域に対し学校公開を行った。その結果、地域の方に様子を知ってもらうよい機会となった。また、運動会や文化祭にも多くの地域の方々の参加をえることができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事への参加は、単なる公開には止まらず、地域住民や学校が主体的に学校教育に対し、関わっていける協力体制を更に推進します。</li> </ul>		

学校と連携した家庭教育の啓発		達成状況
担当課	生涯学習課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ励行と交通ルール指導のため、9月25日から28日までの4日間、「かほく市グッドマナーキャンペーン」を展開した。市職員のほか河北郡市教育振興会、かほく市民生児童委員協議会、かほく市社会教育委員、高松ライオンズクラブ会員など、272名がキャンペーンに参加した。 また、市内各小中学校においても、教職員、児童生徒、保護者等が取り組んだ。</li> <li>・小学生の「早寝・早起き・朝ごはん」を推進するため、「げんきあっぷカード」を作成し、市内小学校の児童へ配付した。 (チェック項目：起床時間、就寝時間、朝ごはんの有無、家庭での手伝いの有無)</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種運動の実施に際しては、学校との十分な調整を図り、効果的な取組として継続します。</li> <li>・保護者向けの講演会や勉強会のほか、保護者が家庭教育について考え、話し合い、気づきを得るような機会を増やします。</li> </ul>		

## 基本的方向 2 - (4) 関係機関の連携強化

教育相談体制の充実		達成状況
担当課	学校教育課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床心理士等によるいじめや不登校などの教育相談を実施した。平成 30 年度は、不登校及び不登校傾向の児童生徒の増加に伴い、来所相談の件数が大きく増加したものと考えている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>*平成 30 年度 来所相談 130 件、訪問相談 4 件、電話相談 19 件</li> <li>*平成 29 年度 来所相談 34 件、訪問相談 10 件、電話相談 6 件</li> <li>*平成 28 年度 来所相談 60 件、訪問相談 9 件、電話相談 19 件</li> <li>*平成 27 年度 来所相談 50 件、訪問相談 9 件、電話相談 17 件</li> <li>*平成 26 年度 来所相談 46 件、訪問相談 7 件、電話相談 23 件</li> <li>*平成 25 年度 来所相談 31 件、訪問相談 8 件、電話相談 57 件</li> <li>*平成 24 年度 来所相談 27 件、訪問相談 7 件、電話相談 37 件</li> </ul> </li> <li>生徒等の悩み事の相談を受けるために、心の教室相談員 3 人を週 3 回、市内の中学校に配置した。</li> <li>スクールカウンセラー 6 人を配置し、市内の全小中学校の児童及び生徒の面接相談や行動観察、登校支援を行った。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どの学校にも専門的知識が求められる相談が多くなっており、引き続き、心の教室相談員、県立看護大学の臨床心理士等の活用、スクールカウンセラーの活用を図ります。</li> </ul>		

問題を抱える子供等の自立支援		達成状況
担当課	学校教育課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認定こども園、小学校、中学校を巡回し、就学前の園児から児童生徒に至るまできめ細かな対応指導を行った。また一方で「成長応援ノート」を活用することによって、情報を共有し学校と家族間の意思の疎通においても支援した。</li> <li>教育支援センター「すまいる」には、年間を通じて最多の 8 名の通室生が生活リズムの再構築と学習支援を受けた。</li> <li>石川県立看護大学との包括的連携事業として、市内中学校及び教育支援センター「すまいる」において、看護大学の学生ボランティアが、メンタルフレンドとして児童及び生徒たちの心の支えとして学習支援を行った。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認定こども園での幼児教育と小学校教育の独自性と連続性について、相互理解を深め、円滑な接続を図ります。</li> <li>小中学校間の接続をより円滑に行い、小中学校の緊密な連携を推進し、学力向上や生徒指導、特別支援教育などの面において、継続性・連続性のある指導を行います。</li> </ul>		

高等教育機関との連携		達成状況 B						
担当課	生涯学習課・学校教育課							
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「包括的連携協定」を結んでいる県立看護大学から、教育相談に臨床心理士の教授を派遣していただいているほか、市内中学校及び教育センター「すまいる」に学習支援ボランティアの派遣、市民体力テストなどを実施した。</li> <li>・経済産業省の「地方版IoT推進ラボ」の計画推進を行う「IT-CATS かほく推進協議会」に地元企業、NPO 法人のほかに金沢大学や石川高専、プログラミングクラブの代表などが参加し、市内小中学生対象の教室や教職員の研修を行った。</li> <li>・西田幾多郎博士に関する資料の調査・研究及び翻刻・分析等について、金沢大学や京都大学の研究機関・研究者等と連携した取組を開始した。</li> <li>・市民大学の講座メニューに「金沢大学市・町共催公開講座事業」等を活用した。</li> </ul>								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>演 題</th> <th>講 師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月 14日(金)</td> <td>かほく市地元学入門</td> <td>金沢大学地域連携推進センター 准教授 蜂屋 大八</td> </tr> </tbody> </table>			月 日	演 題	講 師	12月 14日(金)	かほく市地元学入門	金沢大学地域連携推進センター 准教授 蜂屋 大八
月 日	演 題	講 師						
12月 14日(金)	かほく市地元学入門	金沢大学地域連携推進センター 准教授 蜂屋 大八						
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内にある石川県立看護大学に加えて、金沢大学地域連携推進センター、石川工業高等専門学校などとの連携を深めることにより、内容の充実を進め、受講者の学習意欲を高めます。</li> <li>・西田幾多郎博士に関する資料の調査・研究及び翻刻・分析等についても、金沢大学や京都大学の研究機関・研究者等と連携した取組を行い、より高い成果を目指します。</li> </ul>								

少年愛護センターとの連携		達成状況 A
担当課	生涯学習課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回補導活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 少年愛護指導員（1人）による指導巡回（月～金 15：00～17：00）</li> <li>* 少年愛護員（45人）による定例指導巡回（年間9回×3地区 19：30～21：00）</li> <li>* 「サマーフェスタ in かほく」における特別指導巡回（8月4日（土） キャッツフェスタ会場 18：30～22：30）</li> </ul> </li> <li>少年愛護員に学校教諭やPTA役員を組み入れることにより、学校と少年愛護センターの連携強化を図った。</li> <li>郡市内の少年補導員（愛護指導員）による広域補導連絡会を毎月3回開催し、連絡会を通して相互の情報交換や連携を図って広域的な活動を実施した。</li> <li>・青少年健全育成に関する啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 標語の募集と優秀作品を生涯学習フェスティバルにて展示</li> <li>* 啓発チラシ発行（全戸配布）</li> <li>* 広報紙「ふれ愛」発行（全戸配布）</li> <li>* 各家庭に対して青少年健全育成の意識の啓発に取り組んだ。</li> <li>* 各小中学校において「非行・被害防止講座」を保護者対象に実施</li> </ul> </li> </ul>		
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の飲酒、喫煙、深夜はいかいといった問題行動については年々減少傾向にあるものの、近年、携帯電話やスマートフォンなどの普及に伴い、ネット被害に巻き込まれる新たな事案に対する啓発を進めます。</li> <li>・引き続き学校、家庭との連携のもと、青少年と保護者への情報端末の利用に関する注意喚起や日常生活のマナー向上を働きかけます。</li> </ul> <p>（参考）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津幡警察署管内で市内在住の青少年が行った非行件数（補導件数・検挙件数） H30：刑法犯2件 不良行為39件 合計41件（H29 53件）</li> </ul>		

## 基本的方向3 - (1) ともに学び合う機会の拡充

学習情報の発信		達成状況 B
担当課	生涯学習課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報、チラシ、ホームページ、いいメール、CATV、新聞などを使って、幅広い世代に対して生涯学習に関する情報を発信することにより、市民に周知することができた。</li> <li>・市民による生涯学習成果発表の場として、渚と海の博物館の回廊部分を「市民ギャラリーうみっこ」として活用した。また、七塚生涯学習センターや高松産業文化センターにおいて、各種団体のチラシなどを掲示し情報を発信した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関を利用し、情報発信を行ったが、中でも早く広く情報が広がるホームページによる発信の即効性が高く有効であった。その利点を活かすためにも、最新の情報への書き換えを随時行う必要がある。また、施設側からの発信のみではなく、Twitter や Instagram など来館者からの情報拡散による口コミ効果を狙う工夫を進めます。</li> <li>・なお、フリーペーパー誌など地域密着度の高い地域情報誌による情報手段の活用も有効と考えられ、様々な周知手法を検討します。</li> </ul>		

学習成果を生かした社会参加の促進		達成状況 B
担当課	生涯学習課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館を気軽に利用してもらうため、子供たちを対象とした体験講座を開催した。</li> <li>・図書館ボランティアの方々のスキルアップや新規ボランティアの開拓のため、今年度も講座を開催した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の学びの成果を地域社会に活かすため、コミュニティ・スクールプランの目的である、学校と地域との協働による取組における支援人材として、継続的に活躍できる機会を提供します。</li> </ul>		

生涯学習フェスティバルの開催		達成状況 B
担当課	生涯学習課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第15回生涯学習フェスティバルを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>期 間： 10月27日(土)・28日(日)</li> <li>会 場： 河北台中学校講堂、河北台健民体育館、七塚生涯学習センターなど</li> <li>内 容： 芸能発表会、各種展示会(体験コーナー)、フリーマーケット、図書館まつり生フェスふるさとスタンプラリー・第2回石川県小学生プログラミングコンテスト表彰式</li> <li>記念講演： 綾戸 智恵 氏 「家族との関わり ～母として・娘として～」 高齢の母親との暮らしから気づいた母と子の絆について、パワフルに、また繊細に語り、聴衆を惹きつけていました。</li> </ul> </li> <li>・スタンプラリーの副賞の図書館まつり古本市の10冊無料券が好評で、本会場から図書館まつりへ来場する流れが定着した。</li> <li>・展示会場における「体験コーナー」も定着し、参加者・利用者から好評をばくした。</li> </ul>		

【今後の方向性】

- ・生涯学習フェスティバルの来場者数は、若干減少の傾向であり、内容の見直しの検討を引き続き進めながら、来場者数の増加に努めます。

数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)
生涯学習フェスティバル 作品展示会場来場者数	5,022	5,558	6,290	5,745	5,502	7,300

市民大学講座事業の展開

達成状況

担当課

生涯学習課

B

< 取組内容・成果 >

- ・かほく市民大学校としての講座を展開した。  
一般教養コース：前期7講座・後期9講座  
親子体験コース：5講座、男女共同参画コース：1講座、家庭教育コース：2講座  
個の学びの意欲に応えらるとともに、学びを通じた交流の輪の拡大を図った。  
市民が自由に自主的に学べる機会として、講座を展開した。  
学びによる豊かな人間性の育成を図った。
- ・図書館と連携した講座を展開した。(9講座)
- ・連続講座としてシリーズ化を図って講座を展開した。

H30 かほく市民大学校 講座

種 類	回 数	
一般教養コース	一般	8回
	ふるさと・歴史	2回
	健康・食	4回
	多文化共生・国際交流	2回
男女共同参画コース(人権事業と連携)	1回	
家庭教育コース	2回	
親子体験コース	5回	
図書館連携講座	9回	
合 計	33回	

【今後の方向性】

- ・講座内容によりターゲットを絞ったPRが必要であり、他課のイベントや各種団体、施設に対し、様々な情報媒体を利用してPRを図ります。
- ・社会貢献や社会参画などにつながるなどの時代に合った内容を検討します。

数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)
市民大学講座延べ受講者	722	683	1,317	1,018	1,289	2,000

## 基本的方向 3 - (2) 地域のコミュニティ活動の推進

地域住民が主体となる学習環境の整備		達成状況																										
担当課	生涯学習課	A																										
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民への学習機会の提供として、行政の取組の説明や職員の専門的知識等を生かした「出前講座」を実施した。町会・区、公民館、老人クラブ、女性団体等による利用が増加した。 出前回数：計 50 回（H29：51 回） 参加人数：延べ 1,871 人（H29：2,011 人）</li> </ul> <p>H30 出前講座 開催回数の多かったもの</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>担当課</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費者講座「悪質なトラブルの被害者にならないコツ」 - 寸劇・カルタ・クイズ・講義などを組合せ -</td> <td>消費生活センター</td> <td>7 回</td> </tr> <tr> <td>子供向けお金の学習 - 紙芝居・絵本・カルタ・ゲームなどを組合せ -</td> <td>消費生活センター</td> <td>5 回</td> </tr> <tr> <td>健康体操「ちょいトレ」をやってみよう！！</td> <td>健康福祉課</td> <td>5 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座については、地域住民の学習の場として、町会区や公民館、社会教育団体としての利用が定着しており、今後もいつでも、どこでも、誰でも自由に気軽に学べる機会の提供を図ります。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標項目</th> <th>H26年度 (実績値)</th> <th>H27年度 (実績値)</th> <th>H28年度 (実績値)</th> <th>H29年度 (実績値)</th> <th>H30年度 (実績値)</th> <th>H30年度 (目標値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前講座の受講者数</td> <td>813</td> <td>1,289</td> <td>1,247</td> <td>2,011</td> <td>1,871</td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table>			講座名	担当課	回数	消費者講座「悪質なトラブルの被害者にならないコツ」 - 寸劇・カルタ・クイズ・講義などを組合せ -	消費生活センター	7 回	子供向けお金の学習 - 紙芝居・絵本・カルタ・ゲームなどを組合せ -	消費生活センター	5 回	健康体操「ちょいトレ」をやってみよう！！	健康福祉課	5 回	数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)	出前講座の受講者数	813	1,289	1,247	2,011	1,871	800
講座名	担当課	回数																										
消費者講座「悪質なトラブルの被害者にならないコツ」 - 寸劇・カルタ・クイズ・講義などを組合せ -	消費生活センター	7 回																										
子供向けお金の学習 - 紙芝居・絵本・カルタ・ゲームなどを組合せ -	消費生活センター	5 回																										
健康体操「ちょいトレ」をやってみよう！！	健康福祉課	5 回																										
数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)																						
出前講座の受講者数	813	1,289	1,247	2,011	1,871	800																						

地域活動の拠点となる施設の整備		達成状況
担当課	生涯学習課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動（地域のコミュニティ活動）の拠点施設として、地区からの要望により、公民館施設の修繕等を進めた。 * 公民館の修繕等 ・二ツ屋公民館空調新設、木津公民館外壁等補修、秋浜公民館便所改修・ブロック塀改修、森コミュニティセンター空調取替 など</li> <li>公民館の修繕等については、総務課所管の集会場施設とも整合を図りつつ、平成 30 年度からは空調設備の新設を追加するとともに、便所の修繕等の項目の拡充を行った。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公民館の修繕等について、地元とも協議を行い、必要性の高いものから順に実施していきます。</li> </ul>		

地域活動団体への支援体制の確立		達成状況
担当課	生涯学習課・スポーツ文化課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活動団体への支援として、主に女性会、子ども会の団体活動に対して事務的支援を行った。</li> <li>・七塚地区（7館）・宇ノ気地区（9館）の各地区の社会教育振興会（地区公民館）に補助金を交付し地区文化祭、運動会、スポーツレクリエーション大会、花いっぱい運動など、地域主体の活動が展開された。</li> <li>・地域連絡体制の整備として、引き続き高松地区に社会教育活動連絡員を配置し、公民館長連絡会との連携を整え、七塚・宇ノ気・高松の全地区に参加を促し、かほく市民交流大会を市民スポレクサーキット大会と統合した「市民交流スポレクサーキット大会」を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>かほく市民交流スポレクサーキット大会 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1戦 フレッシュバドミントン 5月27日(日) 参加25チーム</li> <li>第2戦 室内バタック 11月25日(日) 参加69チーム</li> <li>第3戦 カロリング 1月20日(日) 参加33チーム</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会や女性会への支援、地区公民館活動への支援については、これまでと同様に進めます。</li> <li>・特に女性会については、会員の減少が著しく、役員も固定化しているが、地区活動としての役割は大きいいため、新たな魅力の創出を目指します。</li> </ul>		

町会・区との連絡体制の整備		達成状況
担当課	生涯学習課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・七塚地区・宇ノ気地区については、公民館長連絡会を開催し、地域の公民館長との連携をもって連絡体制を整えた。</li> <li>・高松地区については、引き続き8ブロックから社会教育活動連絡員を選出し、全町会区との連携体制を整えた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高松地区の社会教育活動連絡員については、町内会をまたがった連絡調整が必要なことから、町内会長・区長などの役員が社会教育活動連絡員となっており、今後も継続して依頼していきます。</li> </ul>		

## 基本的方向 3 - (3) 読書環境の充実と読書活動の推進

図書館サービスの強化		達成状況																					
担当課	生涯学習課	B																					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙、ホームページ、いいメールかほく、CATV等を通じて、図書館の資料・事業・サービスについて新刊情報案内、図書館事業案内などの情報発信を行った。</li> <li>・毎月23日の「市民読書の日」に合せ、その前後の日曜日に様々なイベントを開催した。(コンサート、講演会、朗読劇、人形劇など)</li> <li>・図書館を通じて市民にかほく市をより知ってもらうため、かほく市特産の高松ぶどうにちなんだイベントを開催した。            テーマ:「高松ぶどうのつるを使ってクリスマスリースを作ろう」参加人数 18人            テーマ:「葡萄と文学と音楽と」参加人数 100人</li> <li>・読書を介して交流するイベント読書カフェを開催した。 4回 参加人数 78人</li> <li>・児童文学の礎を築いた「石井桃子」をとりあげ、映画上映会、ブックトーク、展示を行った。</li> <li>・小学校での英語の教科化を見据え英語絵本を充実させたほか、読み聞かせをする人材を増やすためボランティア講座を開催した。</li> <li>・「図書館友の会」やボランティア人材との連携を図り、図書館運営協力者会議での意見を踏まえながら、市民の声を取り入れ、市民に親しまれる図書館づくりに努めた。            おはなしボランティア「やまんば」によるお話会 (年間51回、参加人数1,211人)            おはなしボランティア「そらいろのたね」によるお話会 (年間19回、参加人数 249人)            宮沢賢治を読む会 (年間10回、参加人数 64人)</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単に本を貸し借りするだけの場ではなくまちづくりの場になっていくよう、地域に目を向けたアプローチ、サービスを行っていくことで、これまで図書館に来たことのない来館者の獲得やリピーターの増加につなげます。</li> <li>・英語絵本の利用増加・定着のための資料整備、活用法などの情報提供を行います。</li> </ul>																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標項目</th> <th>H26年度 (実績値)</th> <th>H27年度 (実績値)</th> <th>H28年度 (実績値)</th> <th>H29年度 (実績値)</th> <th>H30年度 (実績値)</th> <th>H30年度 (目標値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館来館者数</td> <td>133,607</td> <td>133,793</td> <td>138,679</td> <td>130,358</td> <td>133,329</td> <td>15万人</td> </tr> <tr> <td>年間貸出人数(中央図書館分)</td> <td>49,243</td> <td>47,974</td> <td>45,956</td> <td>42,716</td> <td>42,657</td> <td>55,000</td> </tr> </tbody> </table>			数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)	中央図書館来館者数	133,607	133,793	138,679	130,358	133,329	15万人	年間貸出人数(中央図書館分)	49,243	47,974	45,956	42,716	42,657	55,000
数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)																	
中央図書館来館者数	133,607	133,793	138,679	130,358	133,329	15万人																	
年間貸出人数(中央図書館分)	49,243	47,974	45,956	42,716	42,657	55,000																	

子供の読書活動の推進		達成状況
担当課	生涯学習課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <p>【読書を通じた子供の健やかな成長のための取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉課と連携し、4ヶ月検診と合わせてブックスタート事業(読みかせ、絵本プレゼント、読書案内、図書館案内)を行った。(年間23回開催、参加人数286人)</li> <li>・市内保育園・幼稚園の年長児を招待しお話を開催した。(年間11回、参加人数347人)</li> <li>・子育て支援センターに出向き、未就園児と保護者等を対象にお話を開催した。 (年間36回、参加人数469人)</li> <li>・小学校に出向き、お話を開催した。(七塚小、年間3回、参加人数210人)</li> <li>・学童に出向き、お話を開催した (外日角学童・七塚学童、年間3回、参加人数126人)</li> <li>・英語のお話を開催した。(年間50回 参加人数858人)</li> </ul> <p>【子供の関心と読書を結びつける取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書につながる料理や工作など取り入れ、子供が読書に関心を持ってもらえるような取組を開催した。            *手づくり絵本教室 (全4回、参加人数149人)            *調べる学習教室(1回、参加人数55人)</li> </ul>		

- \* 絵本で楽しむクッキング（年1回、参加人数15人）
- \* 茶会とお話会（参加人数36人）
- \* 夜の図書館（参加人数30人）

**【読書活動の励みになる取組】**

- ・調べる学習コンクール（応募数588点）手づくり絵本コンクール（応募数118点）及び作品展示、表彰式を行った。
- ・調べる学習コンクールの優秀作品を全国コンクールに推薦し、1点が優良賞に、4点が奨励賞に選ばれた。
- ・読書日記展を開催し、子供たちの読書活動の様子を紹介した。（市内6小学校より2名ずつ、市内2中学校より10人）
- ・小学校3年生を対象に、国語科「本は友だち」の学習の一環として、図書館の使い方や工夫などについて授業を行った。

**【今後の方向性】**

- ・子供時代の読書活動が大人になった時の支えになる。引き続き子供の年齢に応じたサービスを提供します。
- ・調べる学習の精度が、これまでの積み重ねにより年々向上している。引き続き学校と連携し、アクティブラーニングの支援を行います。
- ・図書館での英語のお話会の実績を基に、学校でも英語絵本の読み聞かせができるよう、団体貸出の機会提供、活用法の情報提供を行っていきます。

市立図書館と学校図書館との連携		達成状況
担当課	学校教育課・生涯学習課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館・学校司書研修会を年12回開催。情報交換や研修を行い、連携を深めた。</li> <li>・市立図書館から学校図書館へ貸出資料・返却資料の物流を行った。（年間52回）</li> <li>・学校司書からの情報提供により、授業での並行読書や調べ学習に役立つ資料を充実させた。</li> <li>・市立図書館・学校図書館関係の担当で研修会を開催し、教員と学校司書で連携して行う授業について理解を深めた。（学校図書館担当教諭・学校司書・市立図書館職員が参加。）</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期連絡会や合同研修会などを通じて、図書館司書、学校司書、学校図書館担当教諭3者の緊密な関係を引き続き保ち、十分な連携によって、より効果的に児童生徒の読書活動を推進します。</li> </ul>		

ICT化への取組		達成状況
担当課	生涯学習課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県立図書館主催の会議や研修会に参加し、情報収集に努めた。</li> <li>・図書館システムを更新と合わせてサービス内容を充実させた。（ホームページでの書影確認、館内OPACでの配架図表示を可能にした。）</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTタグや電子書籍の導入については、費用対効果や市民ニーズ、図書館業界の状況などを見極めながら、引き続き検討課題とします。</li> </ul>		

## 基本的方向3 - (4) 博物館活動の充実と情報発信

石川県西田幾多郎記念哲学館の充実		達成状況 A														
担当課	生涯学習課															
<p>&lt; 取組内容・成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常設展示に加え、企画展を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ：外国からの便り - 西田幾多郎が絵葉書を通して見た世界 - 3月27日～9月24日</li> <li>テーマ：西田幾多郎の恩師 北条時敬 9月26日～平成31年3月24日</li> <li>テーマ：西田記念館・哲学館 開館50年の歩み展 11月16日～12月28日</li> </ul> </li> <li>哲学館発信事業の継続的展開として、ゆかりの地「京都大学（百周年時計台記念館）」にて展示会及び講演会を京都大学文書館、大学院文学研究科の協力を得て開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>展示会：9月4日～11月4日「京都大学の西田幾多郎」 観覧人数 延べ 6,928人</li> <li>講演会：10月21日 参加者 110人 <ul style="list-style-type: none"> <li>「西田幾多郎在職時の京都帝国大学」西山 伸（京都大学大学文書館教授）</li> <li>「西田幾多郎の住まいと建築論」 市川秀和（福井工業大学教授）</li> <li>「人間 西田幾多郎」 林 晋（京都大学大学院文学研究科教授）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>中級者、上級者向けの「西田幾多郎哲学講座」（10回）『善の研究』を一章ずつ読み進める「寸心読書会」（10回）2泊3日の「夏期哲学講座」、禅文化を体験する「座禅会」（2回）を開催した。</li> <li>身近なテーマを取り上げ、哲学館受講生の裾野が広がるよう、気軽に参加できる初心者向けの講座やイベントを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>『哲学入門講座』 3回 参加者 128人</li> <li>『映画上映会』 2回 参加者 201人</li> </ul> </li> <li>身近な問題について考えを深め、対話を楽しむ（アクティブ・ラーニング）トークイベントを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>『哲学カフェ』（一般向け）7回 参加者 124人</li> <li>『小学生の哲学対話』（高松小2・3・4・6年生）</li> <li>共通通徳での『哲学カフェ』（小学5年生・中学2年生）各校1回</li> </ul> </li> <li>講演会等に参加するのではなく、気軽に哲学に触れられるよう哲学館ホワイエに「旅」をテーマにした本約50冊を配架して、期間限定の図書空間をつくりだし、考えるきっかけとなる『本の展示会』を1月12日から3月10日にかけて開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>入館者数 延べ 3,110人</li> </ul> </li> <li>京都大学・金沢大学や哲学研究者と連携し、西田未公開資料の翻刻業務を行った（ノート15冊、レポート9束）。また、貴重な資料であるが状態が悪いため、一部展示公開用のレプリカを作製した。</li> <li>各種研修の受入と出前講座を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>研修受入 延べ 7回 126人（日本通運、三谷産業、玉川大学、金沢桜丘高校等）</li> <li>出前講座 延べ 13回 1,323人（金沢工業大学、金沢二水高校、いしかわ長寿大学等）</li> </ul> </li> <li>大学等のゼミナールによる哲学館利用の促進を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>かほく市宿泊施設制度利用による来館実績： 玉川大学 延べ 26人</li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学と連携してのゆかりの地講演会や入門講座・哲学カフェなどの特色ある事業を継続的に展開する中で、より魅力のあるものとし、ゆかりの地からや北陸新幹線利用者も含め、新たな来館者やリピーター（交流人口）の増加につなげます。</li> <li>長期間開催となる企画展では、期間を通してのメディアやマスコミへの周知や県内外の博物館などへのチラシ・ポスターの配布を随時行います。また、関連イベントも実施して来館者の増加につなげます。</li> <li>収蔵品管理システムを充実し、研究者から一般の方まで多くの人たちに閲覧できることをPRして、西田博士・哲学館の周知及び調査研究につなげます。</li> <li>京都大学・金沢大学や哲学研究者と連携し、貴重な西田未公開資料の翻刻業務等を進めて西田幾多郎全集別巻を発刊します。</li> <li>施設の経年劣化が進行しており、施設長寿命化計画を基に設備等の更新等を引き続き適宜行い、観覧環境の整備を行います。</li> </ul>																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標項目</th> <th>H26年度 (実績値)</th> <th>H27年度 (実績値)</th> <th>H28年度 (実績値)</th> <th>H29年度 (実績値)</th> <th>H30年度 (実績値)</th> <th>H30年度 (目標値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西田幾多郎記念哲学館の 年間総利用者数</td> <td>25,217</td> <td>24,357</td> <td>26,294</td> <td>31,370</td> <td>29,185</td> <td>25,000</td> </tr> </tbody> </table>			数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)	西田幾多郎記念哲学館の 年間総利用者数	25,217	24,357	26,294	31,370	29,185	25,000
数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)										
西田幾多郎記念哲学館の 年間総利用者数	25,217	24,357	26,294	31,370	29,185	25,000										

うみっころんど七塚「海と渚の博物館」の充実		達成状況 A
担当課	生涯学習課	

< 取組内容・成果 >

- ・「海と渚の博物館」での民俗資料の公開と市民の芸術文化活動の発表の場として「市民ギャラリーうみっこ」での作品展示会の開催、キャンプ場及びバーベキュー場の運営により、人々の交流活動を促進した。
- ・博物館展示室観覧者数 11,964人（うちギャラリー入場者数 9,373人）
- ・「市民ギャラリーうみっこ」での展示会の開催 29回  
（主な展示会）  
石川中央都市圏考古資料巡回展、押花アート合同展示、手づくりおしゃれ工房教室展、水墨画を楽しむ蘭墨会作品展、白峰会書道展、布ぞうり&花のおりがみ展、かほく市絵画協会展、原爆戦争写真展、夢の架け橋絵手紙展、ガラスアート作品展 K フレンズ、うみっこ企画展 2018、第 74 回現代美術展 かほく市入選者作品展、写真愛好家 70 人+ 展、「PFU 社友会作品展・社会貢献活動紹介」、HAND AND HAND コラボ展 2018、第 14 回私の作品展、手描きと CG を併用した身近な風景スケッチ展など
- ・キャンプ場等利用者数 11,373人（うちバーベキュー場利用者数 6,280人）
- ・体験活動の実施  
貝がらアート体験 208人、プラ板工作体験 49人

【今後の方向性】

- ・ホームページ、ケーブルテレビ、関連雑誌などの情報媒体を活用し、施設最新情報の発信等にて来場者の増加を図ります。
- ・「市民ギャラリーうみっこ」については、今後も市民の芸術文化活動の発表の場としての利用促進を更に進めます。
- ・計画的な設備・機器等更新、補修を実施し、適切な管理に努め、良好な見学環境を維持します。

数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)
うみっころんど七塚の 年間総利用者数	18,614	21,278	22,668	24,390	23,337	21,000

## 基本的方向 4 - (1) ふるさと学習の充実

地域に根ざした学習活動の推進		達成状況
担当課	生涯学習課・スポーツ文化課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <p>【コミュニティ・スクールの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特産物や風土を知る体験活動が行われた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 高松中学校：地域の特産物である高松ぶどうが栽培 100 周年を迎えるにあたって、生産組合や J A の協力を得て、1 年生が授業で高松ぶどうについて調べ、学習成果を文化祭や記念式典で発表した。</li> <li>* 河北台中：「親子で地域ボランティア活動」PTA と生徒が自分の住む地域の公民館の清掃を行った。</li> <li>* 金津小学校：「金津の森 F A B プロジェクト」学校林から伐採した樹木を活用し、児童から募集したアイデアを基に、A I スピーカーのついたテーブルを作成した。</li> </ul> </li> </ul> <p>【文化財活用事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の遠足で史跡を訪問した際に歴史学習の一環として史跡について説明した。(大海西山弥生の里・上山田貝塚 2 小学校)</li> <li>また、授業の中で、長柄用水の現地を案内し説明した。(2 小学校)</li> <li>・「文化財ガイド Q R 動画看板」の作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>* かほく市ボランティア観光ガイド「夢案内スマイル」の協力を受け、市内文化財の紹介動画にリンクする Q R コードを新たに 5 か所設置した。</li> </ul> </li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">長柄用水 東善作 鶴杉 高橋ふみ 上山田喜多家シダレザクラ</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のふるさとに対する理解と愛着を高めるため、地域の歴史や文化などについて、成人や児童生徒が学びを深める取組を引き続き進めます。</li> <li>・歴史や文化財に関するパンフレットや関連資料の作成を順次進め、各種講座やボランティア観光ガイドとの連携事業など、学びの機会に活用できる環境を整備します。</li> </ul>		

四季の風土を感じるプログラムの実施		達成状況
担当課	生涯学習課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市子ども会の支部において、体験活動を取り入れた研修会が実施された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>かほく市子ども会：1 年生から 3 年生を対象に豆まきを行った。</li> <li>高松支部：交流会でニュースポーツ(カローリング)を体験。その後、お月見にちなんで団子を作り楽しんだ。</li> <li>七塚支部：リーダー研修や合宿錬成会における自然体験、キャンプ体験</li> <li>宇ノ気支部：リーダー研修におけるキャンプ体験、親子クリスマスコンサート</li> </ul> </li> <li>・天体観望会を開催し、四季折々の星座観察と学習の機会を提供した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催回数：14 回 参加者数：平均 30 人/回</li> </ul> </li> <li>・かほく市民大学校において、四季を感じる内容の講座を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「絵手紙体験」 7 月 15 日 参加者 19 人</li> <li>「プランターで楽しむ! ~ 春の花の魅力 ~ 」 1 月 18 日 参加者 11 人</li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感受性豊かな子供たちの生きる力や命を大切にすることを育むため、引き続き自然体験活動や五感で季節を感じる活動などを進めます。</li> </ul>		

かほく市ゆかりの人物の紹介と全国への発信		達成状況 A
担当課	生涯学習課・スポーツ文化課	
<p>&lt; 取組内容・成果 &gt;</p> <p>【西田幾多郎の紹介・発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西田幾多郎記念哲学館において、市内の小学5年生、中学2年生を対象に西田幾多郎の生き方や考え方について学ぶ「共通道徳」を実施した。児童生徒が、西田幾多郎の生き方について学び、道徳的価値観を得る機会とした。また、「共通道徳」の一環として全小学5年生、中学2年生のクラスで哲学対話（哲学カフェ）も行った。他にも金沢工業大学、金沢二水高校等へも出前講座等を行っている。</li> <li>・石川県学童話し方大会及び全国吟詠大会、西田幾多郎博士頌徳会書道展を開催し、西田幾多郎博士の偉業や努力を知り、郷土を愛する心の醸成を図った。</li> <li>・全国17都府県から60名の参加を得て、恒例の夏期哲学講座を8月17日から19日にかけて西田幾多郎記念哲学館で開催した。</li> <li>・ゆかりの地の京都大学において大学文書館、大学院文学研究科の協力のもと、展示会（9月4日～11月4日）「京都大学の西田幾多郎」及び講演会（10月21日）「西田幾多郎在職時の京都帝国大学」、「西田幾多郎の住まいと建築論」、「人間 西田幾多郎」と題して京都大学百周年時計台記念館にて開催した。</li> <li>・報道関係に広く哲学館事業等を周知することにより、県外の新聞等を含め数多く新聞掲載された。またテレビ等にも多く取り上げられる機会があった。</li> <li>・収蔵品管理システムやHPの充実及びいいメールかほく等の発信はもとより、今秋よりFacebookを使い、機会を捉えて哲学館事業等を広く情報発信しており、多くの人への周知及び事業参加にもつながっている。</li> </ul> <p>【鶴彬の紹介・発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高松産業文化センター2階において、鶴彬に関する展示が行われている。</li> <li>・かほく市川柳協会・鶴彬を顕彰する会の主催による「第23回鶴彬川柳大賞」が開催され、全国へ情報が発信された。 投句者数：199人</li> <li>・鶴彬演劇公演実行委員会が主催する「鶴彬没後80年演劇「鶴彬～時代を超えて」開催事業に文化活動支援事業補助金（石川県文化振興基金1/2市1/4）を交付した。 【事業内容】 鶴彬没後80年演劇「鶴彬～時代を超えて」の開催</li> <li>・鶴彬を顕彰する会が主催する「鶴彬のふる里市民川柳祭」を後援した。 応募者：小学生449人、中学生331人、一般15人</li> </ul> <p>【櫻井三郎左衛門の紹介・発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高松自治文化協会及び高松公民館の主催事業 児童劇「勇気ある知恵者 櫻井三郎左衛門物語（平成29年度上演）」のDVDを図書館に設置および貸出した。</li> </ul> <p>【東善作の紹介・発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東善作の功績を顕彰する事業として開催された「第24回石川県紙ひこうき大会 in かほく」に補助金を交付し、併せて大会の運営支援を行った。（参加者：延べ210人）</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の先人を知り、ふるさとへの誇りと愛着をもってもらうため、かほく市ゆかりの人物に係る事業を継続して、市民のふるさと学習を進めます。</li> <li>・「唐仁屋三郎兵衛」や「櫻井三郎左衛門」など、コミュニティ・スクールとして取組むふるさとの偉人学習活動への支援を図ります。</li> <li>・市内小中学校での共通道徳や県内外の高校・大学、いしかわ長寿大学等への出前講座や研修受入れ等を通して市民・県民の哲学（文化）振興や郷土への関心を高めます。</li> <li>・「市村栄次郎」や「竹内外史」など、地域の偉人の掘り起こしを進め、新たな偉人の情報を発信するとともにふるさと学習への活用を図ります。</li> </ul>		

## 基本的方向 4 - (2) 芸術文化活動の促進と支援

すぐれた芸術に触れる機会の提供		達成状況
担当課	学校教育課・生涯学習課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールシアターを開催した。(県との共催) <ul style="list-style-type: none"> <li>* 期日及び会場 6月4日(月) 宇ノ気小学校体育館</li> <li>* 参加者 かほく市内6小学校5年生 308人</li> <li>* 公演内容 オペレッタ劇団ともしび 「トラの恩がえし」</li> </ul> </li> <li>・オーケストラ鑑賞教室を開催した。(県との共催) <ul style="list-style-type: none"> <li>* 期日及び会場 5月25日(金) 河北台中学校講堂</li> <li>* 参加者 河北台中学校全生徒及び教職員、保護者 377人</li> <li>* 演奏内容 オーケストラ・アンサンブル金沢による演奏</li> </ul> </li> <li>・秋萩の哲学館ライトアップ寄席を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 期日及び会場 9月24日(月・祝) 西田幾多郎記念哲学館</li> <li>* 参加者 一般市民 183人</li> <li>* 演奏内容 落語家桂まん我による落語公演</li> </ul> </li> <li>・かほく市クリスマスコンサートを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 期日及び会場 12月20日(祝) 西田幾多郎記念哲学館</li> <li>* 参加者 一般市民 150人</li> <li>* 演奏内容 オーケストラ・アンサンブル金沢メンバー4人による弦楽四重奏</li> </ul> </li> <li>・かほく市立中央図書館 お月見おはなし会を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 期日及び会場 9月23日(日) 学習室</li> <li>* 参加者 一般市民 60人</li> <li>* 演奏内容 ミニコンサート(ヴァイオリン、フルート、ピアノの演奏)とお話会</li> </ul> </li> <li>・かほく市立中央図書館読書の日事業 「葡萄と文学と音楽と」を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 期日及び会場 2月24日(日) 七塚生涯学習センター 視聴覚講義室</li> <li>* 参加者 一般市民 100人</li> <li>* 演奏内容 朗読とチェロ演奏</li> </ul> </li> <li>・かほく市立中央図書館読書の日事業 アフタヌーンコンサートを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 期日及び会場 3月24日(日) 七塚生涯学習センター 視聴覚講義室</li> <li>* 参加者 一般市民 40人</li> <li>* 演奏内容 マリンバ・ピアノによるボサノバコンサート</li> </ul> </li> <li>・市民ギャラリーうみっこで展示会を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 開催回数 計29回</li> <li>* 主な内容 書道展、絵画展、水墨画展、生花展、押花アート展 ほか</li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が意欲的にすぐれた文化芸術に触れて刺激を受け、さらには自身も何らかの形で活動に携わることで、潤いのある暮らしを実現します。</li> <li>・市民が、質の高い芸術に気軽に触れることのできる機会を設け、芸術文化への関心を喚起します。</li> <li>・中央図書館、哲学館、うみっこらんど七塚など、市民に身近な施設でのイベント、「哲学の杜」ライトアップとのタイアップイベント、生涯学習フェスティバル、文化協会の活動について、連携や共催などの検討を行います。</li> </ul>		

文化活動団体・個人への支援		達成状況 B
担当課	生涯学習課・スポーツ文化課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <p>【かほく市内文化活動団体の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化活動団体の紹介チラシを全戸配布するとともに、公共施設にチラシを配置し団体情報を発信した。</li> </ul> <p>【文化活動支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続事業3件を認定し補助金を交付した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* H30 鶴彬没後80年演劇「鶴彬～時代を超えて」開催事業</li> <li>* H28～29 かほく市吹奏楽団設立15周年記念演奏会</li> <li>* H30～31 かほく浜防風プロジェクト</li> </ul> </li> </ul> <p>【全国大会出場者への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会出場者激励費（文化振興激励費）の支給により文化的活動を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 全国かるた中学生選手権大会 1人（監督）</li> <li>* 第33回国民文化祭・おおいた2018 競技かるた部門 1人（選手）</li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市文化協会をはじめとする文化活動団体の組織や活動を活性化し、市民の文化活動により広く寄与するよう、広報活動や助成事業などの支援を引続き進めます。</li> <li>・「文化活動支援事業」（石川県文化振興基金1/2市1/4）の周知を進め、市民自らが主体的に「ふるさと学習」「すぐれた芸術活動」等の展開に活用できるよう引き続き支援します。</li> </ul>		

地域や世代を越えての交流の促進		達成状況 B
担当課	生涯学習課・スポーツ文化課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習フェスティバルの芸能発表ステージにおける市内7コーラスグループによる「100人コンサート」やかほく市吹奏楽団と市内3中学校吹奏楽部による「100人バンド」は、来場者から引き続き好評を得ている。</li> <li>・子ども文化教室として開催した「子ども煎茶教室」「子どもお箏教室」では、市内小学生が活動を通じて日本古来の礼儀作法や和のこころについて学んだ。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化活動を通じた世代交流を図るため、市文化協会の所属団体をはじめとする各種文化団体の活動についての広報・情報発信を進め、子ども会などの社会教育団体やコミュニティ・スクールとの連携・協働による交流促進を図ります。</li> </ul>		

## 基本的方向 4 - (3) 未来に伝える文化財の保護と活用

歴史学習の充実		達成状況
担当課	スポーツ文化課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民大学校において、県関係機関から講師を招いて講座を開き、郷土の歴史及び文化財を知る機会を提供した。</li> <li>・観光ボランティアガイドと協働し、「かほくちょっと旅」と称してかほくりの収穫体験と大崎専信寺見学会を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 『加賀国金津荘とかほく市』 石川県立図書館史料編さん室 室員 瀬戸 薫 氏</li> <li>* 『かほく秋の恵みと歴史ある寺院を訪ねる』 かほく市ボランティア観光ガイド</li> </ul> </li> <li>・「文化財ガイドQR動画看板」の作成 【再掲】 <ul style="list-style-type: none"> <li>* かほく市ボランティア観光ガイド「夢案内スマイル」の協力を受け、市内文化財の紹介動画にリンクするQRコードを新たに5箇所設置した。</li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市観光部局や、ボランティア観光ガイドと連携して、郷土の歴史や文化財により親しみやすい環境の整備を図るとともに、これまでに設置したQR動画看板について、広く活用されるよう取組を進めます。</li> <li>・市内には、近世の歴史的町並みや建造物なども数多く残っていることから、それらを活用した歴史学習の機会を検討し、実施していきます。</li> </ul>		

考古、歴史、民俗資料の活用		達成状況
担当課	スポーツ文化課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市所蔵の各種文化財資料については、七塚生涯学習センター郷土資料室や収蔵施設（旧高松第四保育園施設）にて管理しているが、七塚生涯学習センターや高松産業文化センターの展示コーナーにて、その一部の文化財を公開した。</li> <li>・小学校における出前歴史教室において、遺跡からの出土品（考古資料）を示して教室を行った。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・七塚生涯学習センターや高松産業文化センターなど既存施設の展示スペースの活用を創意工夫により継続して進めるとともに、海と渚の博物館内に新たに「（仮称）かほく市ふるさと資料展示室」の整備を進めます。</li> </ul>		

国、県、市指定文化財の保護と活用		達成状況
担当課	スポーツ文化課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かほく市内には、国指定1件、県指定4件のほか市指定物件が44件ある。そのうち、史跡整備されている上山田貝塚（国指定史跡）、大海西山遺跡（県指定史跡）については、社会科学習の教材（見学地）として活用された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 宇ノ気小学校、大海小学校、七塚小学校</li> </ul> </li> <li>・上山田喜多家しだれ桜については、これまで行われた保護処置の効果としての樹勢回復状況の観察を続けた。樹木医による診断、所有者観察では樹勢の維持、部分的改善が見受けられる。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国県の指定史跡については、石川県文化財パトロールの対象として定期的に管理状況がチェックされており、パトロール結果を踏まえて適切な管理と保護措置を継続的に進めます。特に国指定史跡「上山田貝塚」の急傾斜地（崖面）保護事業の進捗を図ります。</li> <li>・県指定史跡「大海西山遺跡」については、復元住居の改修を検討するとともに史跡活用を図ります。</li> <li>・上山田喜多家しだれ桜については、現状を踏まえ定期的観察を継続します。</li> </ul>		

地域学習や学校授業への活用		達成状況					
担当課	スポーツ文化課	B					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大海西山遺跡にちなみ、市内5小学校で弥生土器づくりを実施し、うち大海小・高松小については大海西山弥生の里を会場に土器焼き体験を行った。</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <p>大海小14人、外日角小66人、金津小11人、宇ノ気小123人 いずれも対象は小学6年生。なお宇ノ気小学校は、遠足の際の火起こし体験のみ実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市独自の文化財学習への支援を行った。 長柄用水の案内・説明：高松小学校4年生（42人）、大海小学校4年生（14人） 上山田貝塚、大海西山遺跡の案内・説明：七塚小学校6年生（33人）</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財のふるさと学習や学校授業への活用については、その内容などについて継続的に見直しを重ねるとともに、学校現場の教員の意見などを参考にするとともに石川県埋蔵文化財センター普及部との連携を図ります。</li> </ul>							
数値目標項目		H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)
歴史教室講座数		6	6	7	10	7	10

保管活用施設等の充実		達成状況				
担当課	スポーツ文化課	B				
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財収蔵施設として、旧高松第四保育園施設を活用して一括保管を行っているほか、七塚生涯学習センター郷土資料室でも資料を保管している。</li> <li>・資料の公開については、高松産業文化センター、七塚生涯学習センター、海と渚の博物館の展示コーナーを活用している。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵施設である旧高松第四保育園施設については、建物内に雨漏りが認められるなど経年劣化が進行しており、貴重な文化財の適切な保管のため、計画的修繕を検討し、保管環境の改善を図ります。</li> <li>・現状の収蔵施設については、通常無人であることから、定期的施設巡回によりその状況を適宜確認し、適切な保管に努めます。</li> </ul>						

職員の専門性の強化		達成状況				
担当課	スポーツ文化課	B				
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県文化財課が実施する試掘調査に同行し経験を重ねた。</li> <li>・石川中央都市圏連携協約にかかる4市2町（金沢市・白山市・かほく市・野々市市・津幡町・内灘町）の文化財担当課で構成する石川中央都市圏歴史遺産活用連絡会において、圏域内の文化財保護行政の推進を図るため、情報交換や課題の共有等を行った。</li> <li>・埋蔵文化財に関する専門的知識を有した専門職員の採用を実施した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用した専門職員のスキルアップを図るとともに、かほく市における文化財保護行政に関する今日的課題の整理を図り、対応策の計画的実施を進めます。</li> <li>・国民共有の貴重な文化財の保護と開発行為の円滑な推進を図るため、専門職員の配置に加えて埋蔵文化財の取扱いに関する行政事務マニュアルの整備と事務の充実を進めます。</li> </ul>						

## 基本的方向 5 - (1) 生涯スポーツの推進

スポーツ推進委員の役割		達成状況
担当課	スポーツ文化課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年度のスポーツ推進委員に 17 人を選任した。</li> <li>市民へのスポーツ理解を深めるため、スポーツの実技指導・助言、連絡調整の役割を担っているスポーツ推進委員の資質向上を図るため、各種研修会へ派遣した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 第 59 回全国スポーツ推進委員研究協議会（鹿児島県鹿児島市） 期日 11 月 14 日（水）～16 日（金） 3 人（委員 2 人、事務局 1 人）</li> <li>* 平成 30 年度北陸地区スポーツ推進委員研修会（白山市） 期日 6 月 23 日（土）・24 日（日） 13 人（委員 10 人、事務局 3 人）</li> <li>* 石川県スポーツ推進委員協議会スポーツ推進委員初任者研修会（金沢市） 期日 7 月 7 日（日） 1 人</li> <li>* 河北郡市・金沢地区スポーツ推進委員協議会実技研修会（かほく市） 期日 1 月 26 日（土） 12 人（委員 10 人、事務局 2 人）（全地区計 72 人）</li> </ul> </li> <li>スポーツ活動の普及・推進を図る事業を積極的に企画運営した。 平成 30 年度より、従来の市民交流大会とスポレクサーキット大会を併せて開催する市民交流スポレクサーキット大会とし、より地域の方々にも親しまれる大会となるよう改善した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* かほく市民ふれあいウォーク（雨天中止）</li> <li>* 第 1 回かほく市民交流スポレクサーキット大会（3 種目）</li> <li>* ラジオ体操指導者講習会（3 地区）</li> <li>* かほく市民体力テスト</li> <li>* 河北潟一周駅伝競走大会</li> <li>* かほく市制施行記念継走大会</li> </ul> </li> <li>公民館や自治会などの活動指導や支援を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 宇野気公民館ラジオ体操指導</li> <li>* 宇野気区ペタンク大会指導</li> <li>* 子ども会高松支部綱引き大会運営協力</li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生涯スポーツ活動の更なる普及と促進を図るため、スポーツ推進委員の増員を進めるとともに、スポーツに関する行事等の充実を図りスポーツ活動を推進します。</li> <li>スポーツの実技指導、スポーツに関する指導及び助言、スポーツ事業の実施に係る連絡調整、学校や公民館・自治会などの活動における指導や助言などのスポーツ推進委員の取組を促進し、スポーツの推進を図ります。</li> </ul>		

体を動かす機会の提供と日常化の促進		達成状況									
担当課	スポーツ文化課	A									
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の健康・体力づくりのため、市民交流スポレクサーキット大会、サンドヒルグラウンド・ゴルフ大会、市制施行記念継走大会等の各種スポーツ大会を開催し、生涯スポーツの普及・啓発を図った。</li> <li>市民交流スポレクサーキット大会では、少年少女、一般男女の部門での競技を行い、子供から高齢者まで参加できる大会として実施し、気軽にスポーツに親しむ機会を提供した。</li> </ul> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">平成 30 年度</td> <td style="width: 45%;">第 1 戦（フレッシュバドミントン）</td> <td style="width: 40%;">小計 25 チーム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第 2 戦（ペタンク）</td> <td>小計 69 チーム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第 3 戦（カローリング）</td> <td>小計 33 チーム</td> </tr> </table> <p>3 戦全てに参加したチームは 22 チームであった。</p>			平成 30 年度	第 1 戦（フレッシュバドミントン）	小計 25 チーム		第 2 戦（ペタンク）	小計 69 チーム		第 3 戦（カローリング）	小計 33 チーム
平成 30 年度	第 1 戦（フレッシュバドミントン）	小計 25 チーム									
	第 2 戦（ペタンク）	小計 69 チーム									
	第 3 戦（カローリング）	小計 33 チーム									

- ・市制施行記念継走大会は、平成 29 年度に比べ、参加チームが増加した。

平成 30 年度	一般男子 (51 チーム)	一般女子 (2 チーム)	
	中学男子 (24 チーム)	中学女子 (20 チーム)	
	市外一般男子 (24 チーム)	小学生 (14 チーム)	合計 135 チーム
平成 29 年度	一般男子 (49 チーム)	一般女子 (4 チーム)	
	中学男子 (21 チーム)	中学女子 (20 チーム)	
	市外一般男子 (13 チーム)	小学生 (19 チーム)	合計 126 チーム

【今後の方向性】

- ・子供から高齢者まで幅広い市民が参加できる事業として、「市民交流スポレクサーキット大会」、「市民ふれあいウォーク」、「市制施行記念継走大会」などを継続し、広く市民が集いスポーツに親しむ機会の充実を図ります。

他団体との連携による健康・体力づくりの取組		達成状況														
担当課	スポーツ文化課	B														
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり、体力づくりを促進するため、高齢者の健康クラブと児童のスポーツ少年団の活動を支援した。</li> <li>・石川県立看護大学との連携により「市民体力テスト」を実施し、各自の体力年齢の把握と今後の日常運動に対する指導を実施した。参加人数は、平成 28 年度 108 人、平成 29 年度 148 人、平成 30 年度 115 人と推移している。健康クラブ会員への参加を促し、自身の体力年齢を知り体力づくりの習慣化の必要性を認識する機会とした。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の宝である子供たちのために、児童個々の「スポーツニーズの受け皿としての役割を担う場」あるいは「スポーツを通じて少年期の心と体を育む場」として、スポーツ少年団活動への支援を継続し、加入率の向上に努めます。</li> <li>・スポーツ少年団や体育協会所属の団体による「かほく市明日のアスリート育成助成金」を活用した事業を促進し、ジュニア期から一流選手に触れる機会の提供を図り、全国に通用する次世代アスリートの育成を目指します。</li> <li>・地域スポーツクラブによる学校や各種団体への指導者派遣など、学校や地域課題の解決にむけた取組を連携して進め、クラブと学校教育が融合したスポーツ・健康にわたる多様な活動の展開を図ります。</li> </ul>																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標項目</th> <th>H26年度 (実績値)</th> <th>H27年度 (実績値)</th> <th>H28年度 (実績値)</th> <th>H29年度 (実績値)</th> <th>H30年度 (実績値)</th> <th>H30年度 (目標値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康クラブ、スポーツ少年団、体育協会 地域スポーツクラブの会員数</td> <td>10,278</td> <td>9,776</td> <td>9,652</td> <td>9,389</td> <td>8,827</td> <td>9,500</td> </tr> </tbody> </table>			数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)	健康クラブ、スポーツ少年団、体育協会 地域スポーツクラブの会員数	10,278	9,776	9,652	9,389	8,827	9,500
数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)										
健康クラブ、スポーツ少年団、体育協会 地域スポーツクラブの会員数	10,278	9,776	9,652	9,389	8,827	9,500										

## 基本的方向 5 - (2) 競技スポーツの拡充・強化、底辺の拡大

各種スポーツ大会の実施		達成状況
担当課	スポーツ文化課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技スポーツとしての競技力向上と競技人口の底辺拡大、生涯スポーツの推進を図るため、広い世代を対象に各種大会を継続実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 主な大会 - <ul style="list-style-type: none"> <li>* 第 15 回かほく市総合体育大会</li> <li>* 第 70 回石川県民体育大会（体育協会）</li> <li>* サンドヒルかほく市 2018 グラウンド・ゴルフ大会</li> <li>* 第 15 回かほく市学童招待野球大会</li> <li>* 第 23 回新化旗争奪全国中学校選抜剣道大会</li> <li>* 第 40 回加賀能登少年剣道大会</li> <li>* 第 15 回河北郡市中学校春季ソフトボール大会</li> <li>* 第 18 回河北郡市中学校春季バスケットボール大会</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技力の向上と競技人口の底辺拡大を図るため、市総合体育大会をはじめとする各加盟団体の主催による競技会を継続して開催します。</li> <li>・石川県民体育大会への積極的参加による多項目参加をめざして、各競技団体に対する支や拡大に取り組みます。</li> </ul>		

児童、生徒の競技力向上のための大会の開催・支援		達成状況
担当課	スポーツ文化課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会加盟の単位協会並びにスポーツ少年団加盟団体等が主催・協力して開催する児童・生徒の競技力向上のための各種競技大会を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 支援事業 - <ul style="list-style-type: none"> <li>* 第 15 回かほく市学童招待野球大会</li> <li>* 第 23 回新化旗争奪全国中学校選抜剣道大会</li> <li>* 第 40 回加賀能登少年剣道大会</li> <li>* 第 15 回河北郡市中学校春季ソフトボール大会</li> <li>* 第 18 回河北郡市中学校春季バスケットボール大会</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・スポーツ少年団への活動補助金の交付を継続した。</li> <li>・「かほく市明日のアスリート育成助成」として、バスケットボール協会、宇ノ気ブルーサンダーの 2 団体へ補助金を交付した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちの競技力向上のため、体育協会加盟の単位協会やスポーツ少年団加盟団体等が主催・協力する各種競技大会等の支援を継続します。</li> <li>・「かほく市明日のアスリート育成助成金」の交付により、児童、生徒の競技力向上につながる事業の展開を支援し、一流選手に触れる機会を創出するとともに、全国に通用する次世代アスリートの育成につなげます。</li> </ul>		

競技スポーツ指導者の育成と指導体制の強化		達成状況																																
担当課	スポーツ文化課	B																																
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導者育成のため、各競技の公認審判員等の資格取得のための研修・登録費用の一部助成を行い、公認審判員の資格取得を奨励した。</li> </ul> <p>公認審判員取得奨励金支給人数 88人  内訳【H30】 88人</p> <table border="0"> <tr> <td>陸上競技</td> <td>24人</td> <td>ゲートボール</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール</td> <td>6人</td> <td>トランボリン</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>水泳</td> <td>9人</td> <td>インディアカ</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール</td> <td>10人</td> <td>レクリエーション</td> <td>1人</td> </tr> </table> <p>参考【H29】 59人(内新規5人)</p> <table border="0"> <tr> <td>陸上競技</td> <td>17人</td> <td>ゲートボール</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール</td> <td>10人</td> <td>トランボリン</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>バドミントン</td> <td>4人</td> <td>インディアカ</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール</td> <td>10人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>競技によって登録の有効期限が異なるため、年度ごとに申請者数に違いが生じるが、公認審判員の資格取得登録数は継続的に確保されている。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジュニア期からの指導を強固なものにするため、体育協会、スポーツ少年団、中学校部活動やジュニアスポーツクラブ等の相互の連携をより密にする「(仮称)ジュニアアスリート養成連絡会」の開催を進め、発達段階に応じた適切な指導を図ります。</li> <li>ジュニア期から成年期まで、年代ごとに適切な指導ができる指導者の育成のため、体育協会やその加盟団体、スポーツ少年団及び地域スポーツクラブなど関係団体等の指導者の公認資格取得に対する助成を継続します。</li> </ul>			陸上競技	24人	ゲートボール	5人	ソフトボール	6人	トランボリン	31人	水泳	9人	インディアカ	2人	バスケットボール	10人	レクリエーション	1人	陸上競技	17人	ゲートボール	1人	ソフトボール	10人	トランボリン	29人	バドミントン	4人	インディアカ	2人	バスケットボール	10人		
陸上競技	24人	ゲートボール	5人																															
ソフトボール	6人	トランボリン	31人																															
水泳	9人	インディアカ	2人																															
バスケットボール	10人	レクリエーション	1人																															
陸上競技	17人	ゲートボール	1人																															
ソフトボール	10人	トランボリン	29人																															
バドミントン	4人	インディアカ	2人																															
バスケットボール	10人																																	

全国大会等出場者への激励		達成状況
担当課	スポーツ文化課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>競技スポーツの振興を図るため、全国大会へ出場する選手・監督等に対して激励費を支給した。また激励会を開催し、上位入賞をめざす精神的高揚を図った。</li> </ul> <p>全国高校総合体育大会、国民体育大会、全国高校選抜大会の出場選手激励会を開催  平成27年度から市内に住所を有する中学生以下の全国大会への出場者に対し、交通費等の必要経費に対する助成を行い、保護者の負担軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 全国大会出場実績 -</li> </ul> <p>大会合計： 52大会  人数： 220人  〔内訳： 中学生以下(26大会 112人) 高校生以上(26大会 108人)〕  注)大会の合計数については、中学生以下を引率する監督(引率指導者)側(高校生以上)の一大会としてカウントしている。</p> <p>中学校体育連盟主催大会以外の全国大会への出場選手に随行する教員に対する激励費等の助成制度を新たに整えた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内に住所を有し、アマチュアスポーツ競技会の全国大会等に出場する選手・監督等に対し、激励費の支給、激励会等の開催を継続します。</li> <li>市内に住所を有する中学生以下の全国大会等への出場者に対し、交通費等の必要経費に対する助成、激励会等の開催についても継続します。</li> </ul>		

## 基本的方向 5 - (3) スポーツ団体の育成支援と連携

スポーツ少年団への支援		達成状況
担当課	スポーツ文化課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の体力向上及び心身の健全な育成を図るため、スポーツ少年団活動への支援として、活動補助金の交付と事務支援を行った。</li> <li>* 団員数 32 団体 609 人（うち中学生 5 人、幼児 12 人） 小学生割合：592/1809 0.327 【H29：32 団体 622 人（うち中学生 10 人、幼児 13 人）】</li> <li>* 指導者数 184 人【H29：179 人】</li> <li>* 市スポーツ少年団としての主な取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>4 月：開講式</li> <li>7 月：第 1 回 田嶋弘和氏による講習「スポーツ選手の競技力向上と障害防止」 69 人出席</li> <li>11 月：かほく市消防本部による講習『心肺蘇生法・A E D の使用方法について』 34 人出席</li> <li>2 月：フェスティバル及び閉講式</li> </ul> </li> <li>・スポーツ少年団への加入率（小学生）は市内全児童の約 33% であり、多くの児童がスポーツ活動を行っている。</li> <li>・青少年の健全育成を図るため、夜 9 時までを活動時間とする指導を強化し、規則正しい生活習慣の定着に努めた。</li> <li>・スポーツ技術の習得だけでなく、社会性、協調性、規律性を育む場として大切な役割を果たしている。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来を担う地域の宝である子供たちのため、児童個々の「スポーツニーズの受け皿としての役割を担う場」あるいは「スポーツを通じて心と体をはぐくむ場」として、スポーツ少年団活動への支援を継続し、加入率の拡大を図ります。</li> <li>・一流選手に触れる機会を提供し、全国に通用する次世代アスリートの育成を目指して、スポーツ少年団に対する「かほく市明日のアスリート育成事業」の周知と利用を促進します。</li> </ul>		

体育協会との連携		達成状況
担当課	スポーツ文化課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会並びに加盟競技団体（33 競技協会）との連携により市総合体育大会及び各種競技団体が主催する大会を継続して開催した。</li> <li>* 市総合体育大会 平成 29 年度（27 競技大会） 平成 30 年度（28 競技大会）</li> <li>* 競技団体主催大会 平成 29 年度（18 競技大会） 平成 30 年度（12 競技大会）</li> <li>・第 70 回石川県民体育大会において、かほく市最高となる男女総合入賞を果たした。</li> <li>* 石川県民体育大会 平成 30 年度結果 男子：総合 5 位、女子：総合 4 位 あわせて、スポーツ奨励賞、スポーツ躍進賞（男子総合）を受賞した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会並びに加盟競技団体への支援を継続し、各種スポーツ大会の実施及び事業運営の協力を促進しつつ、市民がスポーツに親しむ機会の拡大を図るとともに競技スポーツ人口の増加を図ります。</li> </ul>		

総合型地域スポーツクラブへの支援と連携		達成状況
担当課	スポーツ文化課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合型地域スポーツクラブ「パレット」との連携により、体育施設の指定管理、スタジオプログラムの運営などを進めた。</li> </ul> <p>【クラブパレット概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 会員数 2,148 人（H31 年 3 月末）</li> <li>* 教室（こども向け）39 教室（一般向け）28 教室 その他スタジオ・サーキット事業を実施</li> <li>* クラブパレットに体育施設（8 施設）の指定管理を委託</li> <li>* 宇ノ気体育館のスタジオプログラムや河北台健民体育館のトレーニングジムの運営により市民の体力づくり、健康づくりを進めた。</li> <li>* IT-CATS かほく推進協議会の一員として、プログラミング教室やロボット教室開催時に募集・受付など事務・会計を担っている。LEGO ロボット教室 4 回</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域に密着した地域スポーツクラブの永続的運営を支えるため、計画的な施設の長寿命化改修を進めるとともに、運営改善への助言・指導を図り、財政的基盤整備を含めたクラブ運営の安定化に向けた支援を検討します。</li> </ul>		

健康クラブへの支援		達成状況
担当課	スポーツ文化課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の運動の日常化を促進し、体力・健康増進を推進するため、市内の3つの健康クラブに対する支援（送迎バスの手配、指導者の派遣）を行った。</li> <li>活動を通じて、体力・健康づくりと会員の相互交流が図られた。</li> </ul> <p>【健康クラブ概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員数 高松健康クラブ 61 人 七塚健康クラブ 60 人 宇ノ気友垣健康クラブ 63 人</li> <li>・ 活動内容 週1回活動（軽運動・ダンス・健康相談（市長寿介護課による））</li> <li>・ 市からの支援内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 週1回の活動時の送迎バス手配</li> <li>* 県健康クラブ交歓大会（10月11日）、第21回能登地区健康クラブ普及育成研修会（10月24日）の送迎バス手配</li> <li>* 活動への講師の派遣（高松健康クラブ・七塚健康クラブ）</li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本格的な高齢化社会が進展していく中、クラブ活動への支援を通して高齢者へのスポーツ（運動）活動の普及を強化し、スポーツ（運動）を通じた交流による健康づくりを促進しながら、健康寿命の延伸を図り元気な高齢者の増加を図ります。</li> </ul>		

各種団体の相互連携支援		達成状況
担当課	スポーツ文化課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ少年団、体育協会、総合型地域スポーツクラブ、健康クラブといった各団体は、それぞれにおいておおむね充実した活動を行い、全体として市のスポーツ環境の充実に寄与している。</li> <li>各団体の活動の多くは、個々の活動にとどまっており、体育協会とスポーツ少年団の一部において連携した取組が認められる状況である。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ基本法改正の趣旨に鑑み、市体育協会から市スポーツ協会への名称変更を検討するとともに、スポーツ少年団、地域スポーツクラブ、健康クラブ等の各種団体の組織のあり方を検討し、市民自らがスポーツに向き合い、携わり、支えあう体制を構築するべく、各種団体を統括する組織として、「（仮称）かほく市スポーツ協会」の設立に向けた調整を開始します。</li> </ul>		

## 基本的方向 6 - (1) 安心して学べる教育環境の充実

学校防災マニュアルの策定		達成状況 A
担当課	学校教育課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市防災訓練（会場：高松中学校、高松小学校、大海小学校）に教職員が参加することにより、避難所運営等の学校としての役割を確認することができた。</li> <li>・8月31日に、土砂災害警戒警報が発表され、かほく市となって初めて「避難準備・高齢者等避難開始」を発令し、金津小学校で拠点避難所が開設された。また、9月4日には台風21号により「避難準備・高齢者等避難開始」を発令し、全小中学校で拠点避難所が開設された。これまでの3年間で学校を拠点とした地域との連携を図った地震想定避難所開設等の防災訓練を行ってきたが、今回の土砂災害、豪雨災害のような場合での避難所開設については手順も違い、課題、問題点も把握することができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な自然災害や交通事故、犯罪等新たな安全上の課題も発生している状況を踏まえ、児童生徒等を取り巻く多様な危険を的確にとらえ、児童生徒の発達段階や地域特性に応じた質の高い安全・防災教育の取組を、地域や関係機関とも連携・協働しながら、全ての学校において推進します。</li> </ul>		

自分の身を守る教育の充実		達成状況 B
担当課	学校教育課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年6月に発生した大阪北部を震源とする地震を機に、学校施設のブロック塀等の安全点検を実施し、危険箇所について撤去工事（七塚小学校・外日角小学校・宇ノ気小学校・宇ノ気中学校）を実施した。</li> <li>・各小中学校において、地域住民やPTA、見守り隊等の協力により、登下校における児童・生徒の安全確保が図られた。</li> <li>・各小中学校において、避難訓練を実施し、また県民一斉防災訓練「シェイクアウトいしかわ」による地震の際の初動対応である「しゃがむ」「隠れる」「じっとする」といった安全行動についても取り組み、自分の身は自分で守るという意識を醸成することができた。</li> <li>・学校防災アドバイザー派遣事業を効果的に活用し、防災意識を高めることができた。 *平成30年度 河北台中学校</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年は、自然災害や熊・イノシシ・猿の出没、不審者など、いつ、どこで、何が起こるかわからない状況にあり、自分の身は自分で守るという教育を進めます。</li> </ul>		

育英制度、奨学金制度の充実		達成状況 A
担当課	学校教育課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校及び高等専門学校に進学又は在学する生徒で、成績が優秀にして、かつ経済的理由により修学が困難な者に対して、修学上必要な学資金を支給した。 *平成30年度 出願者 12人 うち11人に対して奨学金を支給（月額8,000円）</li> <li>・就学援助費について、支給要件の、「児童扶養手当の全部支給」を「児童扶養手当の全部支給及び一部支給」とし、児童・生徒が安心して学べる教育環境を支援した。また、就学援助費のうち「新入学準備費」について、平成29年度から新小学1年生を対象に追加し、中学1年生も含め早期に支給することとし、3月に支給した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、奨学金制度や就学援助費について、保護者への周知を図り、漏れのない支給を行うことにより、児童・生徒が安心して学べる教育環境を支援します。</li> </ul>		

老朽建物の改築・改修		達成状況 A
担当課	学校教育課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度国の補正予算による補助採択を受け、外日角小学校の長寿命化改修工事を実施した。(令和元年までの 2 ヶ年事業)</li> <li>・七塚小学校の長寿命化改修工事に向け、実施設計を実施し、平成 30 年度の国補助(補正)採択を受け工事に着手した。(令和元年度へ繰越)</li> <li>・小学校の遊具について、専門業者による点検を実施し、不具合のあった遊具の修繕、撤去、撤去に伴う遊具の新設を行い、安全で安心できる学校施設に努めた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校施設長寿命化計画(個別計画)」を策定し、計画的な老朽化対策を実施するとともに、防災機能の強化、教育環境の質的向上を図ります。</li> </ul>		

非構造部材の耐震化		達成状況 B																							
担当課	学校教育課																								
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内 5 小学校及び 1 中学校において、地震に備え体育館の非構造部材の耐震化工事を終えている。 金津小学校：非構造部材の耐震化該当なし、 宇ノ気中学校・河北台中学校の体育館は社会体育施設としての位置づけ</li> </ul> <table border="1" data-bbox="237 1064 1355 1294"> <thead> <tr> <th colspan="2">数値目標項目</th> <th>H26年度 (実績値)</th> <th>H27年度 (実績値)</th> <th>H28年度 (実績値)</th> <th>H29年度 (実績値)</th> <th>H30年度 (実績値)</th> <th>H30年度 (目標値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">学校非構造部材の耐震化</td> <td>小学校</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>66.7%</td> <td>66.7%</td> <td>66.7%</td> <td>66.7%</td> <td>66.7%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校非構造部材の河北台中学校講堂のつり天井について、建物機能を生かした耐震化を図る必要があるため、工法等について更なる調査・検討を進めます。</li> </ul>			数値目標項目		H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)	学校非構造部材の耐震化	小学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%	中学校	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	100%
数値目標項目		H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)																		
学校非構造部材の耐震化	小学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%																		
	中学校	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	100%																		

ICT機器の整備		達成状況
担当課	学校教育課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のICT機器を活用した指導力の向上、デジタル教材の有効活用による授業づくりを推進するため、小中学校の全ての教室において、教職員の指導用タブレット端末を3年計画で整備することとし、平成30年度は初年度として、小学校は2学年、中学校は1学年の教室数分の指導用タブレット端末の整備を実施した。</li> <li>・また、河北台中学校、宇ノ気中学校において大型テレビ（大型提示装置）の整備を実施した。</li> <li>・教職員の校務の効率化、負担軽減を目的に、統合型校務支援システムについて検討を行った。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領では、情報化やグローバル化、人工知能の飛躍的な進化を背景に「プログラミング教育」が必須となることから、国が策定する「教育ICT教材整備指針」や先進事例も参考としながら、効果的なプログラミング教育について、引き続きICT機器の整備、Wi-Fi環境の整備について検討します。</li> <li>・統合型校務支援システムについて、県市町教委連の統合型校務支援システム検討会の設立が決定され、引き続き、県市町教委連での検討会での状況を注視しながら、導入に向けた検討を進めます。</li> </ul>		

環境に配慮した教育設備の充実		達成状況
担当課	学校教育課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校全てが「いしかわ学校版環境ISO」に指定されていることから、家庭と協力しながら、リサイクル活動を行うとともに、ツバメ調査の実施、ごみの分別学習、海浜クリーン作戦など各校が積極的に取り組んだ。</li> <li>・石川県の補助事業「エネルギー教育推進事業」により、電気に関する様々な実験を行うことで、電気に関する理解を深め、また太陽光や風力といった環境に優しい次世代エネルギーについても理解を深めた。</li> <li>・七塚小学校の長寿命化改修工事において、省電力照明など環境へ配慮した設計とした。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、各小中学校が「いしかわ学校版環境ISO」に取り組むとともに、積極的に、石川県の補助事業「エネルギー教育推進事業」を活用し、環境に優しい次世代エネルギーについても理解を深めます。</li> </ul>		

## 基本的方向 6 - (2) 生涯学習の拠点となる施設の適正管理と活用

生涯学習センターの運営管理		達成状況
担当課	生涯学習課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>七塚及び宇ノ気生涯学習センターの適切な維持管理に努め、設備更新や修繕を進め、安心して安全に利用できる生涯学習の場を提供した。</li> </ul> <p>主な修繕等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;七塚生涯学習センター&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>フェンス支柱修繕</li> <li>換気扇取替工事</li> <li>屋上フェンス縦格子修繕</li> <li>エアコン修理</li> <li>外部ボックス(ブラケット灯、コンセント)修繕</li> <li>駐車場消雪ドレンノズル取替工事</li> <li>非常用発電機接地工事</li> <li>排水管修繕工事</li> <li>非常用発電機油量計取替工事</li> </ul> </li> <li>&lt;宇ノ気生涯学習センター&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>玄関天井修繕</li> <li>冷温水発生器1号修繕</li> <li>視聴覚室・音楽室漏水修繕</li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、施設と設備の適切な管理と良好な施設環境の保持に努め、市民の生涯学習の場、成果発表の場としての活用を促進します。</li> </ul>		

地域交流施設の有効活用		達成状況														
担当課	生涯学習課	A														
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>団体活動や地域活動のための施設として、生涯学習センターのほかに学校施設などの利用開放を行った。学校施設開放として、河北台中学校の交流棟や講堂などを市民の利用に供した。</li> <li>文化協会の加盟団体などの生涯学習活動の場として、高松産業文化センターや大海交流センターが利用された。</li> <li>各種団体による施設の定期利用計画の調整を図り、施設の効率的な利用促進を図った。</li> <li>両生涯学習センターは、生涯学習の振興を図るため設置されたものであり、各種講座の開催に加えて、市民又は市民団体の生涯学習活動の拠点としての施設として活用することができた。</li> <li>生涯学習センター内に子育て支援センターや子ども総合センターの機能が加わり、複合的な機能を有したことから、利用者が増加し、施設の有効活用が図られた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き市民の生涯学習等の場を提供し、市民サークルや団体等の学習を通じて自分づくりを進め、更に学びの成果が地域づくりにつながるよう施設の有効活用を図ります。</li> </ul>																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標項目</th> <th>H26年度 (実績値)</th> <th>H27年度 (実績値)</th> <th>H28年度 (実績値)</th> <th>H29年度 (実績値)</th> <th>H30年度 (実績値)</th> <th>H30年度 (目標値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>七塚、宇ノ気生涯学習センターの年間利用者数</td> <td>32,603</td> <td>49,901</td> <td>51,697</td> <td>55,532</td> <td>52,609</td> <td>26,000</td> </tr> </tbody> </table>			数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)	七塚、宇ノ気生涯学習センターの年間利用者数	32,603	49,901	51,697	55,532	52,609	26,000
数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)										
七塚、宇ノ気生涯学習センターの年間利用者数	32,603	49,901	51,697	55,532	52,609	26,000										

## 基本的方向 6 - (3) スポーツ施設整備の推進と活用

施設の統合計画の推進		達成状況 B
担当課	スポーツ文化課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「(仮称)かほく市総合体育館」の建設に向けた基本構想を策定し、現在の河北台健民体育館と七塚武道館の機能を統合した体育館として整備する方向性を整理した。</li> <li>・「かほく市スポーツ施設整備計画」を策定し、総合的な施設の統廃合、施設の長寿命化に取り組むこととしている。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生涯スポーツ、競技スポーツの拠点施設として、「(仮称)かほく市総合体育館」の整備を進めます。整備に際しては、今後の維持管理を含めたトータルコストの最小化や効用の最大化が図れるよう調査検討するとともに、市民「誰もが、いつでも、いつまでも」利用でき、トップアスリートのプレー観戦もできるスポーツ拠点施設としての整備を進めます</li> <li>・既存のスポーツ施設については、施設の統合や再整備、長寿命化対策を含めた「かほく市スポーツ施設整備計画」の推進を図り、施設の整備・改修を計画的に進めます。</li> </ul>		

施設機能の充実・強化		達成状況 B
担当課	スポーツ文化課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇ノ気野球場施設を含む、都市公園全体としてのうのけ総合公園リノベーション工事を実施した。</li> <li>・アクロス高松のろ過設備の長寿命化改修工事を実施した。</li> <li>・七塚体育センターの長寿命化大規模改修工事にかかる実施設計を行った。</li> <li>・その他、社会体育施設の修繕工事を実施した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のスポーツ施設については、「かほく市スポーツ施設整備計画」に基づき、施設の長寿命化や改修を行い、施設や設備の充実と機能の高度化・強化を図ります。</li> <li>・高齢者や障がい者、子育て世代などの区別なく、全ての市民が日常的に安全かつ快適にスポーツを楽しむことができる施設の整備を目指してバリアフリー化を進め、利用者に優しいスポーツ施設、ニーズに応え得る施設としての機能充実を図ります。</li> </ul>		

効率的な管理・運営		達成状況 B
担当課	スポーツ文化課	
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・23の体育施設のうち、宇ノ気スポーツセンターを除く22の施設について、指定管理者による管理運営を行った。 (指定管理者・・・かほく市公共施設管理公社、NPO法人クラブパレット、コナミスポーツクラブ・PFUライフエージェンシーグループ)</li> <li>・利用料金制度(施設利用料を指定管理者の収入とする制度)をとっており、指定管理者による創意工夫等管理運営の改善に継続的に取り組む。</li> <li>・サッカー・ラグビー競技場、七塚中央公園多目的運動広場の指定管理期間の満了により、平成31年度からの5年間の新たな指定管理者を公募し、決定した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設の管理運営については、今後ますます管理運営の効率化が求められることから、引き続き、民間活力の導入を進め、有益性の高い効率的な運営を図ります。</li> <li>・スポーツイベントと文化的イベントの同時開催や、各種スポーツ大会の会場に芸術文化的内容を盛り込むなどの新たな取組により、スポーツ施設の集客増加や収益拡大を図ります。</li> </ul>		

学校体育施設の有効活用		達成状況																								
担当課	スポーツ文化課	A																								
<p>&lt; 取組内容・成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かほく市立学校施設利用条例の規定に基づき、全ての学校施設開放を行った。</li> <li>・スポーツ少年団加盟団体や総合型地域スポーツクラブ加盟団体を中心として、主にスポーツ団体によって定期的に利用された。利用に際しては、学校と緊密な調整を図り、学校行事等の把握に努めながら、学校教育現場に支障をきたさないよう留意しながら行うことができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も学校や地域との十分な調整を図りながら、社会教育活動や公共の利用に対して積極的に学校開放を進めるとともに、学校施設の有効活用を図ります。</li> <li>・学校施設の改修など、施設利用に制限が生じる場合には、利用団体への影響を最小限に止まるよう配慮し、円滑な施設提供に留意します。</li> </ul> <p>(参考) 利用できる学校施設  高松中学校(校舎、屋外運動場、屋内運動場) 河北台中学校(校舎、屋外運動場、講堂)  宇ノ気中学校(校舎、屋外運動場)  高松・大海・七塚・外日角・宇ノ気・金津小学校(屋外運動場、屋内運動場)  利用条件: 市内在住者、在勤者及び在学者10人以上で構成され、かつ、責任者としての成人を含む団体が、学校教育上支障がないと認められる限り、社会教育その他公共のために利用する場合。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標項目</th> <th>H26年度 (実績値)</th> <th>H27年度 (実績値)</th> <th>H28年度 (実績値)</th> <th>H29年度 (実績値)</th> <th>H30年度 (実績値)</th> <th>H30年度 (目標値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内スポーツ施設の総利用者数</td> <td>608,793</td> <td>627,046</td> <td>608,267</td> <td>604,054</td> <td>607,510</td> <td>563,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 参考 H30 内訳</p> <table> <tr> <td>体育施設計</td> <td>561,426 人</td> </tr> <tr> <td>学校施設計</td> <td>46,084 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>607,510 人</td> </tr> </table>							数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)	市内スポーツ施設の総利用者数	608,793	627,046	608,267	604,054	607,510	563,000	体育施設計	561,426 人	学校施設計	46,084 人	合計	607,510 人
数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)																				
市内スポーツ施設の総利用者数	608,793	627,046	608,267	604,054	607,510	563,000																				
体育施設計	561,426 人																									
学校施設計	46,084 人																									
合計	607,510 人																									

## 基本的方向 7 - (1) 多文化共生社会および国際化に対応した教育の充実

国際交流事業の推進		達成状況
担当課	生涯学習課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市交流事業の実施 10月11日から20日まで、姉妹都市青少年交流として市内中学校生徒17人と引率者3人をドイツメスキルヒ市へ派遣した。事前研修をはじめ、メスキルヒ市民との交流、学校見学、市内外の見学を通して異文化交流を図ることができた。 姉妹都市交流青少年派遣事業の事前・事後研修会において、メスキルヒ市のホストファミリーへのEメールの書き方、手紙の書き方の指導を行った。その中でもSNSを活用した事前交流の実施や、帰国後に中学校単位でのメールによる交流を行うことで、より多くの生徒による交流を図ることができた。</li> <li>・JAPAN TENT かほく市プログラムの実施 8月23日から26日にかけて開催した第31回JAPAN TENT かほく市プログラムでは、かほく市内の9家庭が留学生15名を受け入れ、異文化交流を行った。</li> <li>・市国際交流協会への支援と連携 市国際交流協会へ補助金を交付し、活動支援を行った。また、市国際交流協会からの要請に応じ、ドイツ語教室や各種イベントへの国際交流員(CIR)の派遣を行ったほか、市国際交流協会が実施する事業の周知を、市広報や「いいメールかほく」を通じて行った。さらに、JAPAN TENT 事業を市国際交流協会と協力して行った。</li> <li>・石川中央都市圏「国際交流連絡会」による国際交流事業の実施 石川中央都市圏連携協約にかかる4市2町(金沢市・白山市・かほく市・野々市市・津幡町・内灘町)の国際交流所管課で構成する石川中央都市圏「国際交流連絡会」において、圏域内の国際交流の推進を図るため、情報交換や課題の共有等を行った。(H30:4回連絡会開催) 10/13(土)~14(日)に開催された「かなざわ国際交流まつり2018」において、石川中央都市圏・国際交流パネルを設置するとともに、各市町の国際交流員により圏域内の国際交流事業の紹介等を行った。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流は人と人の交流であって、より多くの市民が気軽に自然体に関わることのできる形が重要であることから、引き続き、かほく市国際交流協会との連携を図りながら協力して事業を展開する。また、中学校によるメスキルヒ市の両学校とのメールによる交流について、次年度以降も継続できるよう協力していきます。</li> </ul>		

多様な文化に対する理解の推進		達成状況
担当課	生涯学習課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流協会による市民サロン「K-Kaffee」が毎週火曜日10時~15時に開催された。</li> <li>・市民の多文化共生への理解を推進するため、7月7日に映画上映会及びその後の意見交換会を実施した。 (映画:「0円キッチン」、映画会参加者:41人、意見交換会参加者:一般市民8人)</li> <li>・2ヶ月に1回、市広報紙に多文化共生に関する記事を掲載した。 (記事名:「考えてみよう 多文化共生のこと」、ページ数:1/2P)</li> <li>・毎月1回、国際交流員(CIR)による国際交流・国際理解に関する記事を掲載した。 (記事名:「イレネのグリアスデイ」、ページ数:1/2P)</li> <li>・市民が国際交流を気軽に行える場として「シュタムティッシュ(ドイツのボードゲームを通じた国際交流)」を実施した。(H30実績:全4回 平均21人/回)</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化交流、国際交流の事業展開に際しては、国際交流協会との連携・協働を進めながら、多国籍の人と市民が交流する場を創出し、また引き続き広報等を利用して、多文化共生社会に対する理解について周知します。</li> </ul>		

<b>実践的な外国語教育の充実</b>		<b>達成状況</b> <b>B</b>
担当課	学校教育課・生涯学習課	

< 取組内容・成果 >

- ・市内中学校の英語力の向上のため、外国青年招致事業により、中学校に外国語指導助手（ALT）3名を配置した。
- ・新学習指導要領の外国語（英語）の教科化に向け、全ての小学校で先行実施し、これまでの民間ALT（1名）と新規に日本人英語指導助手（4名）を配置し、小学校3年生以上の英語の授業をTT授業で行った。
- ・教職員の英語指導力向上を図るために外国語教育研修を開催し、金沢教育事務所の指導主事を招聘して、きめ細かな指導助言を受けた。
- ・市民の国際交流・国際理解への関心を高めるため、国際交流員（CIR）をかほく市出前講座、中央図書館でのおはなし会、子育て支援センター、保育園、小学校、市国際交流協会の行事等へ派遣した。
- ・国際交流員の市行事への派遣については42回を数えたほか、市民団体や学校からの要請による派遣（かほく市出前講座、小学校、かほく市国際交流協会等の行事）が32回を数えた。対象者の年齢・性別に偏りなく、多くの市民と交流する機会となった。

【今後の方向性】

- ・小学校での外国語の教科化をはじめ、中学校でも英語教育の更なる改善・充実を図るとともに、小学校と中学校の外国語教育の接続を円滑に行うため、小学校教員と中学校英語担当教員の合同研修・意見交換など一層の連携推進を図ります。
- ・中学校の英語力の向上に向け、外国語指導助手（ALT）を活用した授業改善を通じて、生徒の英語の「聞く」「話す」力の育成に努めます。
- ・中学校の英語力向上をめざすとともに、目標に向けての学習意欲向上を推進するため、英語技能試験等の導入を進めます。
- ・子供たちが外国語に慣れ、異国の文化や習慣等を理解し、コミュニケーションできる力を高める取組を進めます。
- ・国際交流員の活用等により、現在実施している市民団体や学校からの要請による派遣の内容を充実させ、市民の国際交流・国際理解の関心を高めます。

数値目標項目	H26年度 (実績値)	H27年度 (実績値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	H30年度 (目標値)
国際理解教室等開催数 (CIR 派遣)	91	78	52	68	74	71

## 基本的方向 7 - (2) 人権教育の推進

学校における人権教育		達成状況
担当課	学校教育課	A
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科、道徳など教育活動全体を通じた人権教育の推進に取り組んだ。特に人権週間の期間においては、各校で人権講演会を企画するなど人権意識の高揚を図った。</li> <li>金沢地方法務局及び市民生活課と連携を図り、「人権の花」運動、人権教室、人権問題講演会などを実施した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広く地域の人材を活用した人権教育を推進します。</li> <li>人権週間における各校の取組が一層充実したものとなるよう努めます。</li> </ul>		

人権意識の向上に向けた活動の推進		達成状況
担当課	生涯学習課	B
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民生活課人権擁護担当との共催により、10月6日に人権に関する映画の上映会を実施し、定員300人を超える一般市民が来場した。映画は「あん」を上映し、人権への理解を啓発した。また、映画上映会の来場者には、パンフレットやクリアファイル等の人権啓発グッズを配布した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権意識の啓発活動については、引き続き市民生活課と連携し、進めます。</li> <li>多数の参加を得ることができる映画上映会については、効果的な啓発機会として継続して行っていきます。また、チラシの全戸配布やいいメールかほく、ホームページへの掲載も周知活動として引き続き行います。</li> </ul>		

# 資 料

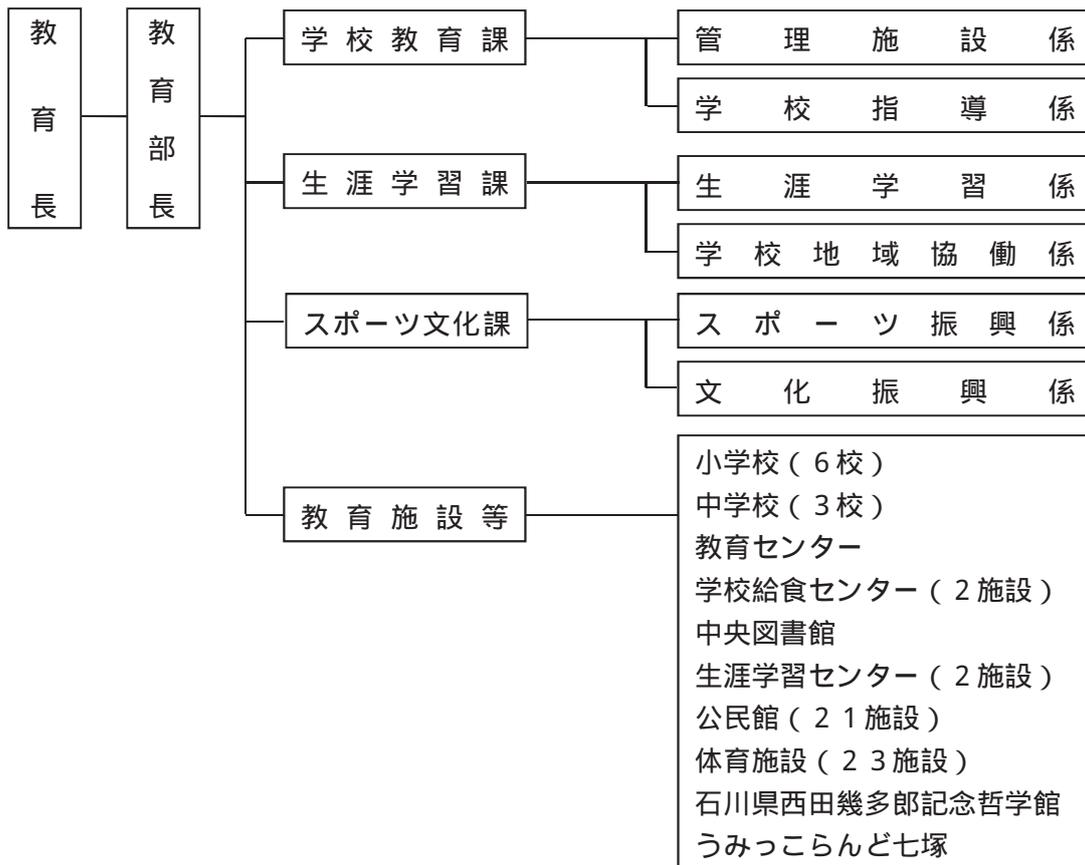
## 1 教育長・教育委員会委員名簿

(令和元年5月1日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	山 越 充	平成31年4月28日～令和4年4月27日
教育長職務代理者	山 本 滝 男	平成30年4月28日～令和4年4月27日
教 育 委 員	松 井 三 枝 子	平成29年4月28日～令和3年4月27日
教 育 委 員	長 柄 悦 子	平成31年4月28日～令和5年4月27日
教 育 委 員	紘 野 武 利	平成30年5月14日～令和2年4月27日

## 2 教育委員会の組織

(平成31年4月1日現在)



### 3 教育機関等

#### (1) 小学校

(令和元年5月1日現在)

名 称	開設年月日	児童数
かほく市立高松小学校	明治 6 年	3 9 5 人
かほく市立大海小学校	明治 8 年 1 月	1 0 2 人
かほく市立七塚小学校	明治 6 年 7 月 4 日	2 6 9 人
かほく市立外日角小学校	明治 8 年 1 1 月 1 7 日	3 8 1 人
かほく市立宇ノ気小学校	明治 8 年 4 月 1 0 日	6 0 8 人
かほく市立金津小学校	明治 6 年 1 1 月	7 3 人

#### (2) 中学校

(令和元年5月1日現在)

名 称	開設年月日	生徒数
かほく市立高松中学校	昭和 2 2 年 4 月 1 日	2 4 7 人
かほく市立河北台中学校	昭和 3 2 年 4 月 1 日	3 2 1 人
かほく市立宇ノ気中学校	昭和 2 2 年 4 月 1 日	4 1 8 人

#### (3) 教育センター

(平成31年4月1日現在)

かほく市教育センター	
------------	--

#### (4) 学校給食施設

(平成31年4月1日現在)

かほく市第1学校給食センター	かほく市第2学校給食センター
----------------	----------------

#### (5) 社会教育施設

(平成31年4月1日現在)

かほく市立中央図書館	かほく市七塚生涯学習センター
かほく市宇ノ気生涯学習センター	石川県西田幾多郎記念哲学館
かほく市うみっこらんど七塚	かほく市高松公民館
かほく市二ツ屋公民館	かほく市長柄町公民館
かほく市木津公民館	かほく市松浜公民館
かほく市遠塚公民館	かほく市浜北公民館
かほく市秋浜公民館	かほく市外日角公民館
かほく市白尾公民館	かほく市森公民館
かほく市指江公民館	かほく市至誠が丘公民館
かほく市気屋公民館	かほく市宇気公民館
かほく市七窪公民館	かほく市宇野気公民館
かほく市内日角公民館	かほく市大崎公民館
かほく市金津公民館	かほく市上田名公民館

## (6)社会体育施設

(平成31年4月1日現在)

かほく市高松体育センター	かほく市七塚体育センター
かほく市宇ノ気体育センター	かほく市河北台健民体育館
かほく市宇ノ気南部体育館	かほく市宇ノ気新化館
かほく市金津体育館	かほく市七窪体育館
かほく市宇ノ気スポーツセンター	かほく市河北台体育館
かほく市宇ノ気体育館	かほく市うのけ総合公園陸上競技場
かほく市サッカー・ラグビー競技場	かほく市七塚中央公園多目的運動広場
かほく市高松野球場	かほく市宇ノ気野球場
かほく市金津ソフトボール場	かほく市七塚テニスコート
かほく市高松グラウンド・ゴルフ場	かほく市七塚武道館
かほく市高松弓道場	かほく市宇ノ気弓道場
かほく市アクロス高松	

## 4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 平成30年度 かほく市教育委員会点検及び評価報告書

発行年月：令和元年 8月

発行者：かほく市教育委員会

学校教育課	TEL 076-283-7136 / FAX 076-283-3643 E-mail : gakkou@city.kahoku.lg.jp
生涯学習課	TEL 076-283-7137 / FAX 076-283-3643 E-mail : syougai@city.kahoku.lg.jp
スポーツ文化課	TEL 076-283-7135 / FAX 076-283-3643 E-mail : spobun@city.kahoku.lg.jp

〒929-1195 石川県かほく市宇野気二81番地（かほく市役所内）

URL : <http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/>